



 関西電力病院

2025年
診療科
の
ご案内

救急からリハビリまで、 専門的かつ包括的な医療を提供し、 患者さま満足度No.1の病院をめざします



当院は昭和28年に関西電力健康保険組合直営病院として、主に職員の福利厚生を目的として7診療科、100床の病院として開設しました。その後経営母体が健康保険組合から関西電力株式会社へと変更され、昭和42年にここ福島区に移転してからは「地域医療への貢献」を目標に掲げ、社員以外の一般住民の方々に広く門戸を開放し、診療の充実に努めてきました。このような中で、救急からリハビリまで、専門的かつ包括的な医療を提供し、患者さま満足度No.1の病院をめざします。

当院では、基本理念として

1. 安全で患者さま中心の病院をめざす。
2. 地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行う。
3. 責任と誇りを持って医療の向上に努める。

という3つの柱を掲げています。

病院職員一同、この基本理念の下、地域の住民の皆様や地域の医療機関のご支援を得ながら、地域に開かれ、地域に貢献する急性期病院として機能すべく、努力して参りました。

ご承知のとおり、超高齢社会を迎えた日本の医療を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。また、医療・医学の進歩にも目を見はるものがあり、最新の医療・治療方法の開発も、日々進んでいる状況です。

当院では、関西電力医学研究所（平成27年開設）と連携することで、臨床と研究に一体となって取組み、最新の高度な医療の提供も含めて、継続して地域に貢献できる病院を目指しています。

平成28年度には大学病院と同様の機能を持つ「DPCⅡ群病院」として、さらに平成30年度からは「DPC特定病院群」として国からの認定を受けてみなさまに最新の高度な医療を提供すべく努力しています。

また地域の住民の皆様の健康と安全を守るには救急医療の充実が必要です。当院では循環器内科、心臓血管外科、脳神経内科外科、消化器内科外科（急性腹症、吐下血対応）、形成外科（切断肢対応）などが24時間対応の救急診療を行っています。

今後も種々の職種によるチーム医療をレベルアップし、医療の質の向上と患者さま満足度No.1をめざすと共に、医療スタッフもやりがいを感じることできる病院になるべく、職員一同さらなる研鑽と努力を積み重ねる決意です。どうぞよろしくお願いいたします。

contents

院長ご挨拶	2
病院概要	4
医療機器の紹介	5
快適な環境づくり	7
地域医療連携室	9

診療科紹介	10
循環器内科	11
消化器・肝胆膵内科	13
糖尿病・代謝・内分泌センター	15
血液内科	17
腎臓内科	19
リウマチ・膠原病内科	21
脳神経内科	23
消化器外科	25
乳腺外科	27
心臓血管外科	29
整形外科	31
脳神経外科	33
リハビリテーション科	35
呼吸器外科	37
形成再建外科	39
泌尿器科	41
婦人科	43
耳鼻咽喉科	45
麻酔科	47
放射線診断科	49
放射線治療科	51
救急集中治療科	53
呼吸器内科	55
皮膚科	57
緩和医療科	58
眼科	59
腫瘍内科	60

外来受診の流れ《初診》《再診》	61
がん相談支援室のご紹介	62
アクセス	63

安全で、患者さま中心の病院をめざします。

地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行います。

責任と誇りを持って、医療の向上に努めます。

関西電力病院患者さまの権利

1. 尊厳を守られる権利

人格、価値観を尊重した医療を受ける権利があります。

2. 最善の医療を受ける権利

安全・適切で最善の医療を、公平に受け続ける権利があります。

3. 説明を受け、選択・決定できる権利

医療内容について、理解できる方法で十分な説明を受ける権利があります。また、診療に関して、拒絶も含め自由に選択し、決定できる権利があります。

4. セカンドオピニオンを受ける権利

他の医師の意見を求める権利があります。

5. 情報に関する権利

十分な医療情報を受け取る権利があります。
また、診療上必要とされる個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

6. 健康教育を受ける権利

健康に関する責任を自覚できるよう、教育・説明を受ける権利があります。

■関西電力病院のあゆみ

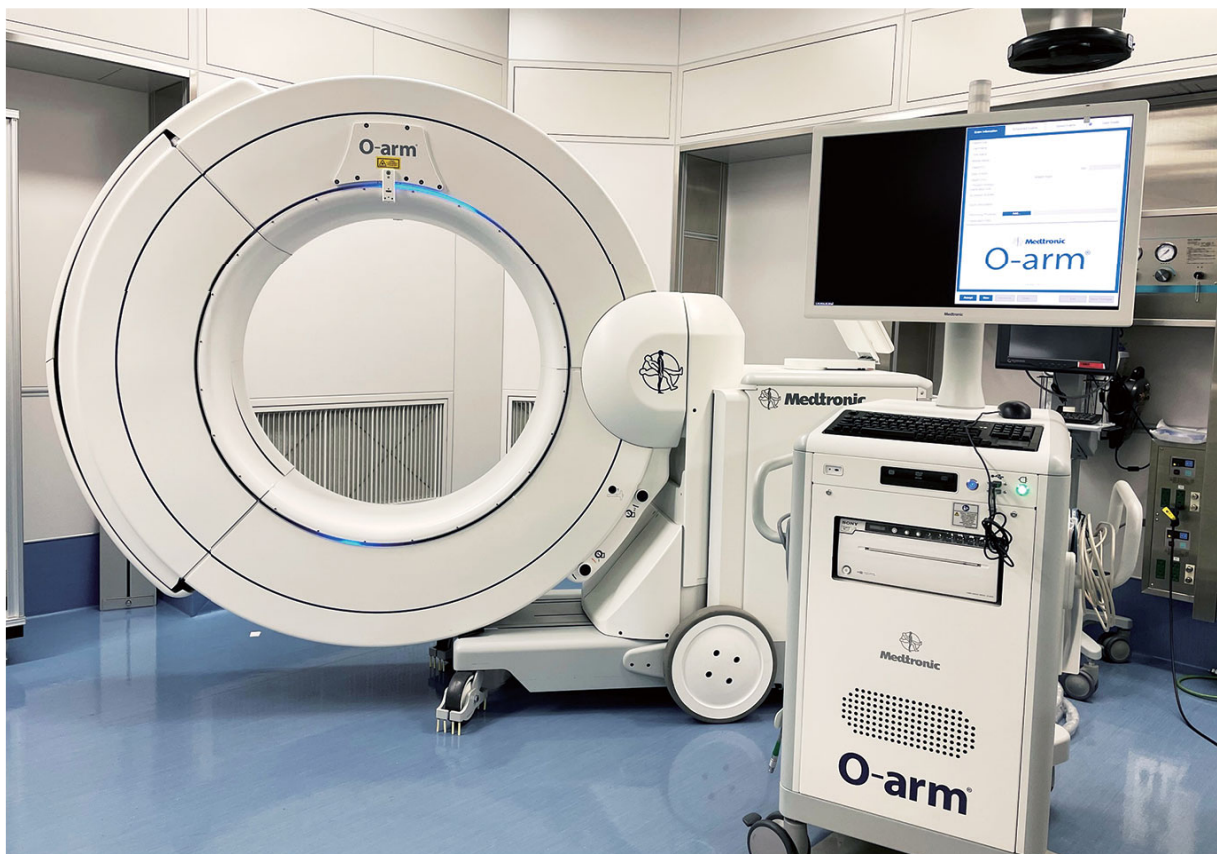
- 1953年12月 関西電力健康保険組合直営病院として開設。
内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科・放射線科で開始。
病床数100床。
- 1954年 9月 皮膚泌尿器科開設。
- 1955年 4月 関西電力(株)に譲渡移管・事業主病院となる。
9月 3階西側病棟増設(38床)、南結核病棟新設(22床)により病床数160床となる。
- 1967年 7月 新病院開設。
泌尿器科、皮膚科から独立。整形外科、神経科、歯科・麻酔科を新設。
病床数350床。
- 1971年 4月 臨床研修指定病院の指定を受ける。
- 1976年 4月 付属高等看護学院開設(2年課程)。
- 1980年 5月 本館南側低層部に3階を増設。
- 1987年 3月 本館東側に地上4階、地下2階を増設。
430床。
- 2000年10月 治療材料SPDシステム導入。
11月 オーダリングシステム運用。
- 2002年 5月 病棟一部改修(個室増室)に伴う病床数変更(400床)。
- 2003年 7月 第4次医療法改正に伴う病床変更
(その他病床→一般病床として届出・急性期病院として登録)。
12月 創立50周年を迎える。
- 2004年10月 形成外科新設。
11月 平日夜間救急開始。
- 2005年 6月 休日夜間救急開始。
10月 救急部設置。
- 2006年 3月 付属高等看護学院閉校。
- 2007年 5月 リハビリテーション科を設置。
7月 内科専門科として肝胆膵内科設置。
歯科廃止。
- 2008年 4月 外来化学療法室を設置。
7月 脳神経外科・緩和医療科設置。
9月 糖尿病・栄養内科を糖尿病・栄養・内分泌内科に診療分野を拡大。
診療情報部、情報システム部を設置。
- 2009年 4月 ICUを設置。
7月 形成外科を形成再建外科に名称変更。
放射線科を放射線診断科、放射線治療科に専門分化。
10月 病理診断科を設置。
- 2010年 3月 新病院建設起工式。
- 2011年 3月 小児科廃止。
4月 救急集中治療・総合診療科設置。
6月 病院機能評価(Ver.6)認定。
8月 看護支援室を設置。
11月 血液浄化室を設置。
- 2012年 4月 病棟看護師2交替化。
- 2013年 5月 新病院第I期開院、診療開始。電子カルテ導入。
- 2015年 6月 外来棟II期工事完了、グランドオープン。
- 2015年10月 心臓血管センター(循環器内科)を設置。
- 2016年 3月 心臓血管外科を設置。
- 2016年 3月 DPCII群病院に認定。
- 2018年 4月 引き続きDPC特定病院群(旧DPCII群病院)に認定。
- 2020年 3月 引き続きDPC特定病院群に認定。
- 2020年 4月 リウマチ・膠原病内科設置。
- 2021年 10月 病院機能評価(3rdG:Ver2.0)認定。
- 2022年 3月 DPC標準病院群に認定。
- 2023年 12月 手術支援ロボット(ダヴィンチ)導入。
- 2024年 3月 DPC特定病院群に認定。



■病院概要(2025年4月現在)

病院類型	(病院種別) (病院の性格)	一般病院 急性期病院
診療科	30診療科	
病床数	(許可病床数)	400床
職員数	医師	170名
	看護師	424名
	薬剤師	29名
	検査技師	35名
	放射線技師	25名
	理学療法士	35名
	作業療法士	18名
	言語聴覚士	9名
	臨床工学士	11名
	臨床心理士	1名
	視能訓練士	8名
	管理栄養士	12名
	医療ソーシャルワーカー	5名
	看護助手	7名
	事務員	40名
	クラーク	130名
	合計	959名
施設(規模)	地上18階、地下2階	
施設基準等	(病棟関係)	7:1看護配置
	(指定等)	救急指定医療施設(2次)
	(病院機能)	DPC特定病院群

医療機器の紹介



■手術室/O-arm

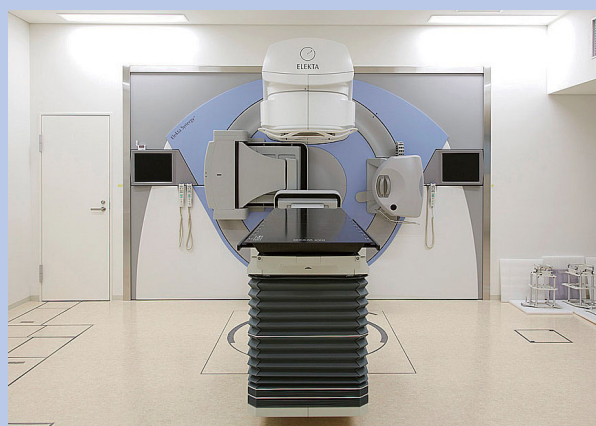
西日本で当病院が初めて導入したO-armから、2024年10月新たに更新したO-arm™は、手術環境のワークフローのニーズに対応するよう設計された、2Dおよび3D移動型術中イメージングシステムです。脊椎、頭蓋、整形外科などの多様な手術に使用できます。イメージングシステムは以下の機能を備え、手術ワークフローをサポートできます。

- ・ 複数の手術台に対応可能
- ・ 並列手術での使用を可能にする移動型システム
- ・ 適切なガントリ動作を再現できるロボットコントロール

■放射線治療装置

通常の固定治療以外に、機器自体が回転しながら強度変調治療を行うため、治療時間を短縮でき、患者さまの負担を軽減できます。

ELEKTA社製
リニアック装置 Synergy(Agility)



■手術室/daVinci

手術支援ロボット「daVinci」を2022年12月より導入しました。患者さまの身体的な負担が少ない腹腔鏡下手術の特長を生かしつつ、ロボットアーム先端の関節部分が360°以上回転する機能などで、従来人間では不可能とされていた手術操作が可能になりました。





■血管造影撮影装置(2台)

心臓・四肢血管用1台と頭頸部・腹部血管用1台の、計2台で検査を行っています。心臓・四肢血管用は微細血管やPCIデバイス(ステント、ガイドワイヤ)などの視認性が高く、頭頸部・腹部血管用は広い領域の血管も一度に高画質画像で撮影可能です。

SIEMENS社製 血管造影撮影装置
Artis zee BA Twin／頭頸部・腹部血管用

■MRI検査装置(2台)

2台のMRIは、ともにトンネルの開口径が比較的広く作られており、圧迫感、閉所感が軽減されています。常用されている1.5TMRIに加え、強磁場3.0TMRI導入により検査の幅が広がり撮像部位によっては高画質化、または高速撮像が可能です。

SIEMENS社製MRI
MAGNETOM Vida Fit(3.0T)



■CT検査装置(2台)

高画質・高精細ながら、患者さまの負担を軽減するための「撮影時間の短縮」や「低被ばく」などの技術が搭載されています。

SIEMENS社製
128スライス Dual Source CT装置
SOMATOM Definition Flash



■救急診療室

救急診療室とCTおよびX線撮影室を直結し、診断および安全な検査が迅速に行えるように整備しました。



■核医学検査装置(2台)

SPECT／CT装置とSPECT装置の、計2台で検査を行っています。SPECT／CT装置にはSPECT画像とCT画像の位置ずれを防ぐ新設計寝台構造や、検査中の心電波形変化を操作室でも確認できるモニタリングシステムが搭載されています。

SIEMENS社製
SPECT／CT装置 SymbiaT6

■設備概要

X線テレビ装置	5台	核医学診断装置(ガンマカメラ、SPECT/CT装置)	2台
MRI装置(3T×1、1.5T×1)	2台	放射線治療装置	1台
CT装置(128マルチスライス×1、64マルチスライス×1)	2台	手術室	8室
乳房撮影装置	1台	O-arm	1台
血管造影撮影装置	2台	daVinci	1台



屋上庭園

快適な環境づくり



エントランスロビー



カフェ

患者さまが院内で快適に過ごしていただけるよう、居住性の高い環境づくりを心がけて工夫を凝らしています。エントランスロビーには、自然光が差し込む吹き抜け構造を取り入れカフェも併設。ゆったりと過ごしていただける開放感ある空間を創り出しています。屋上庭園の豊かな緑は、見る人の気持ちを和ませてくれるでしょう。

総合案内





病室1759号からの眺望



1床室(個室)

全病床400床のうち個室は128室あります。また、建物構造をダブルスクエア(四角形を2つ組み合わせた形)とすることで、4床部屋の一部(特別4床室)では、各ベッドサイドに窓を配し、眺望とプライバシーに配慮した空間を実現しました。患者さまの早期の社会復帰をサポートする回復期リハビリテーション病棟(44床)も新設しています。その他の施設でも、採光に配慮するなど、快適な環境づくりに努めています。



特別4床室



外来化学療法室



回復期リハビリテーション病棟(食堂)



講堂

地域医療連携室

医療機関の先生からの、診療のご依頼については、「地域医療連携室」にご連絡ください。
迅速にご予約をおとりし、当日、患者さまがスムーズに診察していただけるよう手続きをいたします。

地域医療連携室のご利用方法

1 患者さまのご紹介

患者さまのご紹介(診察・検査・セカンドオピニオン依頼)は、「**診察申込書**」※に必要事項をご記入の上、**診療情報提供書**と一緒にFAXで**地域医療連携室**へご送信ください。

- 全診療科の初診予約をお受けしております。(診療科によって、予約曜日、予約時間帯が異なります)
- MRI、CT等の検査のみのご予約もお受けしております。(検査によっては、患者さまの病歴、投薬状況等が必要となりますので、ご了承ください)
- 放射線検査の申込みは「**放射線検査申込書**」※によりお願いいたします。

※以下のURLからダウンロードできます。

「**診察申込書**」……………<https://kanden-hsp.jp/files/medical/cooperation/appli2.pdf>

「**放射線検査申込書**」……………https://kanden-hsp.jp/files/medical/cooperation/appli_radio2.pdf

医療機関からの専用連絡先▶ 関西電力病院 地域医療連携室

TEL 06-7501-1406(直通) 平日8:30～19:00、土曜日8:30～12:00

FAX 06-6458-0347(直通) 終日稼働

(ただし休日夜間の受信分は、翌開院日の返信となります)

2 患者さまの予約通知

地域医療連携室ではご依頼いただきました「**診察申込書**」に基づき、当該診療科に連絡をとり、日時が決まれば「**予約通知書**」をFAXにてご返信いたします。

3 診察当日

患者さまは、指定された日時に「**予約通知書**」・「**診療情報提供書**」および「**健康保険証**」をご持参の上、「**総合受付**」へお越しください。

4 受診結果

受診結果については、その都度、「**地域医療連携室**」より郵送等にてご報告いたします。

診療科紹介

関西電力病院では、現在27の診療科・センターを備え、いずれも高度な技術を持った専門医が診療を行っています。さらに各医療スタッフが、診療科の枠を超え連携しながら、患者さまにとってよりよい医療の提供に取り組んでいます。



循環器内科

消化器・肝胆膵内科

糖尿病・内分泌代謝センター

血液内科

腎臓内科

リウマチ・膠原病内科

脳神経内科

消化器外科

乳腺外科

心臓血管外科

整形外科

脳神経外科

リハビリテーション科

呼吸器外科

形成再建外科

泌尿器科

婦人科

耳鼻咽喉科

麻酔科

放射線診断科

放射線治療科

救急集中治療科

呼吸器内科

皮膚科

緩和医療科

眼科

腫瘍内科

循環器内科

施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本循環器学会循環器専門医研修施設

日本心血管インターベンション治療学会研修施設

医師紹介

救急搬送された患者さまの救命に、全力をつくします。また、あらゆる心血管疾患を持つ患者さまに、安全で質の高い医療を提供し、健康な暮らしのお手伝いをします。

かじ しゅういちろう
加地 修一郎
心臓血管センター長・主任部長

■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成5年

■専門分野 循環器内科全般、心血管カテーテル治療、大動脈疾患、心臓CT・MRI

■資格、所属学会
京都大学 医学博士、京都大学 臨床教授、徳島大学 臨床教授、日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会（専門医・近畿支部評議員・FJCS）、日本超音波学会（専門医・指導医）、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本脈管学会（専門医・指導医）、日本心臓病学会、日本集中治療学会、国際磁気共鳴医学会（ISMRM）、2026年改訂版 感染性心内膜炎診療ガイドライン班員、2025年改訂版 心不全診療ガイドライン班員、2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン班員



あさだ さとし
浅田 聡
心血管治療部長

■出身大学 京都府立医科大学

■卒年 平成12年

■専門分野 循環器内科全般、心血管カテーテル治療、大動脈疾患

■資格、所属学会 京都府立医科大学 医学博士、日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会（専門医・施設代表医）、心臓リハビリテーション指導士、胸部ステントグラフト実施医、腹部ステントグラフト指導医



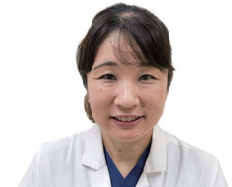
きのした みなこ
木下 美菜子 部長

■出身大学 神戸大学医学部

■卒年 平成13年

■専門分野 循環器内科全般、心血管カテーテル治療、心臓超音波、ペースメーカー治療

■資格、所属学会 京都大学 医学博士、日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会専門医、日本心エコー図学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本心臓病学会、日本心臓リハビリテーション学会



医師名	役職	専門分野	出身大学 卒年	資格、所属学会
みやかわ こうたろう 宮川 浩太郎	医長	循環器内科全般、 心血管カテーテル治療、 心臓CT	京都府立医科大学 平成16年	京都府立医科大学 医学博士、日本内科学会（総合内科専門医・指導医） 日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、 心臓リハビリテーション指導士、腹部ステントグラフト実施医
はやの まもる 早野 護	医長	不整脈疾患、 カテーテル アブレーション、 ペースメーカー治療	鳥取大学医学部 平成17年	京都大学 医学博士、日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本不 整脈心電学会（不整脈専門医）、ICD/CRT研修修了、リードレスペースメーカ （Micra）実施医、リードレスペースメーカ（Aveir）実施医、クライオアブレー ション（Arctic Front）実施医、クライオアブレーション（POLARx）実施医
うさ みしゅんすけ 宇佐美 俊輔	医長	循環器内科全般、 心血管カテーテル 治療、心エコー、 心臓リハビリ、 心臓核医学	東京慈恵会 医科大学 平成19年	京都大学 医学博士、日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会專 門医、日本核医学会（核医学専門医・PET核医学認定医）、心臓リハビリテーション 指導士、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本超音波医学会（超音 波専門医）、日本心エコー図学会、日本腫瘍循環器学会、日本心臓弁膜症学会、 日本病態栄養学会、日本救急医学会、日本感染症学会、日本宇宙航空環境医学会
はたに たけし 羽溪 健	医長	循環器内科全般	京都大学医学部 平成21年	京都大学 医学博士、日本内科学会（総合内科専門医）、日本循環器学会 専門医、日本心血管インターベンション治療学会
あおの ゆうや 青野 佑哉	医員	循環器内科全般	関西医科大学 平成27年	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベン ション治療学会認定医、日本心エコー図学会
せお ひでのぶ 瀬尾 英伸	医員	循環器内科全般	岡山大学医学部 平成28年	日本内科学会専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベン ション治療学会、日本心エコー図学会
しまぶくろせいじ 島袋 誠地	医員	循環器内科全般	神戸大学医学部 平成31年	日本内科学会、日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会
たにぐち ひろき 谷口 洋樹	医員	循環器内科全般	大阪医科薬科大学 令和2年	日本内科学会、日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会、 日本不整脈心電学会
たかおり りゅうた 高折 隆太	医員	循環器内科全般	滋賀医科大学 令和3年	日本内科学会、日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会、 日本心エコー図学会
いしい かつひさ 石井 克尚	非常勤	循環器内科全般	大阪医科大学 昭和60年	日本内科学会、日本循環器学会、日本心エコー図学会

特色 当科は、“心血管疾患を持つ患者さまに安全で質の高い医療を提供すること”を目標とし、心臓血管外科と協調して様々な心血管疾患に対する診療を行っており、心血管疾患を持つ患者さまを24時間体制で受け入れています。近年、多職種からなるハートチームで診療にあたることが重要になってきていますが、当科も心臓血管外科、生理検査部門、放射線科、臨床工学技術部、リハビリテーション技術部、薬剤部、栄養部、看護部という多職種で協働して日々の診療を行っています。

当科の診療の特色は以下の通りです。

- 虚血性心疾患では、冠動脈CT検査(シーメンス社製2管球CT装置)、心臓核医学検査などの非侵襲的検査を中心に正確な診断と病態評価を行っています。また冠動脈造影検査を積極的に行い、最新の技術を用いながら冠動脈形成術を行っています。
- 弁膜症疾患では、経胸壁心エコーのみならず経食道心エコー検査を行い、病態を評価し、重症例では心臓血管外科と手術治療を施行します。軽症および中等症の症例でも適切な薬物治療や経過観察を行います。

主な疾患 虚血性心疾患(急性冠症候群、狭心症など)、弁膜症疾患(大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症など)、不整脈疾患(心房細動、心室頻拍、心室細動など)、大動脈疾患、末梢動脈疾患(急性大動脈解離、胸部・腹部大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症など)、肺動脈疾患(肺塞栓症、肺高血圧症など)、心不全(急性・慢性心不全など)、静脈疾患(深部静脈血栓症など)

- 不整脈疾患では、パルスフィールドアブレーション、クライオアブレーションをふくめた最新のアブレーション治療を行っています。またペースメーカー等の最新のデバイス治療も多く施行しています。
 - 胸部・腹部大動脈瘤では心臓血管外科と協力してステントグラフト治療を行っています。また下肢閉塞性動脈硬化症では、血管内治療を数多く施行しています。
 - 心筋症や慢性心不全例の診断において、心臓MRI検査や心臓核医学検査を活用して正確な診断、病態評価に努めています。特に心臓MRI検査では最新の診断技術(T1マッピング等)を用いて、心アミロイドーシスや心臓サルコイドーシスなどの二次性心筋症を診断しています。
 - 軽症から最重症までの、あらゆる急性心不全患者さまを受け入れ、治療しています。心原性ショックを伴った超重症例では経皮的人工心肺補助装置(PCPS)を併用しています。
- 上記以外にも、心臓リハビリテーションや癌化学療法後の慢性心不全例の治療などにも注力しています。心血管疾患は多様性に富みますが、当科は各分野に専門のスタッフを有しており、質の高い医療を提供できる体制をとっています。

関西電力病院 循環器ホットライン

050-7102-7414

24時間循環器内科医が対応します。
緊急時はホットラインに御連絡下さい。

主な診療実績 循環器科病床数:23床 ICU:6床 HCU:4床

名称	実績(2020)	実績(2021)	実績(2022)	実績(2023)	実績(2024)
循環器内科 年間入院患者数	815	902	942	857	925
循環器内科 平均入院日数	5.6	5.7	6.1	6.6	6.5
トレッドミルおよび薬剤負荷心エコー試験	17	58	93	91	90
経胸壁心エコー(生理検査室実施分)	4,267	5,024	5,026	4,992	5,467
経食道心エコー(生理検査室実施分)	122	155	132	135	131
ABI	1,804	2,098	1,914	1,787	1,715
冠動脈造影検査	352	489	425	371	451
運動・薬物負荷心筋血流シンチ	54	167	164	113	155
冠動脈CT、心臓CT	228	450	462	452	522
心臓MRI	23	61	70	58	75
緊急PCI(経皮的冠動脈形成術)	50	72	53	51	59
待機的PCI	172	197	184	153	194
EVT(経皮的血管形成術)	93	158	78	66	58
TEVAR・EVAR(胸部・腹部大動脈ステントグラフト内挿術)	20	20	14	13	9
ペースメーカー植え込み	26	29	27	33	29
CRT-D新規、交換	0	1	0	0	0
ICD新規	0	1	0	4	2
カテーテルアブレーション	63	101	66	98	91
心大血管疾患リハビリテーション患者数	220	240	284	320	348
心大血管疾患リハビリテーション実施件数	2,320	3,375	6,544	6,707	7,915

消化器・肝胆膵内科

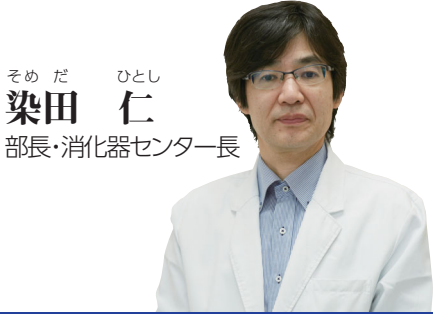
施設
認定

日本内科学会認定制度教育病院
 大阪府肝炎専門医療機関指定
 日本肝臓学会認定施設

日本消化器内視鏡学会認定指導施設
 日本消化器病学会認定施設

医師紹介

消化器内科は食道・胃から大腸・肛門までの消化管と、肝・胆・膵の検査・治療を担当します。私たちは外科・腫瘍内科も含めた、各臓器の専門家を中心にチーム医療を行い、ガイドラインに沿った医療の標準化に取り組む一方、患者さま一人ひとりの社会的環境や希望にそった最適な医療を行う努力をしています。治療方針決定や検査に際しては丁寧な説明を行い患者さまの納得がいくように心がけています（インフォームド・コンセントの実施）。



そめだ ひとし
染田 仁
 部長・消化器センター長



うお せ すぐる
魚瀬 優
 部長

■出身大学	富山大学医学部	■出身大学	京都大学医学部
■卒年	昭和60年	■卒年	平成3年
■専門分野	肝・胆・膵疾患の診断と治療、消化器内視鏡	■専門分野	消化器内視鏡による診断と治療（特にESD）
■資格、所属学会	日本内科学会（認定医・指導医） 日本消化器病学会（専門医・指導医・近畿支部評議員） 日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医・近畿支部評議員） 日本肝臓学会（専門医・指導医） NSTコーディネーター 京都大学 臨床教授 関西医科大学 臨床教授 京都大学 医学博士	■資格、所属学会	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
ふじわら みきお 藤原 幹夫	部長	消化器内視鏡による 診断と治療（ESD）・ 癌化学療法	香川大学医学部 平成11年	日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）、京都大学 医学博士
あすま けいしろう 東 恵史朗	医長	消化器全般 特に肝・胆・膵	京都大学医学部 平成18年	日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医
はまだ けんすけ 濱田 健輔	医長	消化器全般 特に消化管と炎症性腸疾患	鹿児島大学医学部 平成24年	日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本癌学会、炎症性腸疾患学会、京都大学 医学博士
たきもといくひさ 瀧本 郁久	医長	消化器全般 特に胆膵疾患	関西医科大学 平成25年	日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
こやま ゆかり 小山 優花里	医員	消化器全般 医学教育	—	日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本膵臓学会
ひがき かなこ 檜垣 華菜子	医員	消化器全般	京都大学医学部 平成28年	日本内科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医
そうま よしひろ 相馬 凱大	医員	消化器全般	京都大学医学部 令和元年	日本内科学会専門医、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会



ちば つとむ
千葉 勉
特任院長

■出身大学 神戸大学医学部

■卒年 昭和49年

■専門分野 消化器全般

■資格、所属学会

日本内科学会(認定医・評議員・功労会員)
日本消化器病学会(指導医・名誉会員)
日本内視鏡学会評議員・日本内分泌学会評議員
日本臨床腫瘍学会理事・日本消化器免疫学会理事
日本がん学会評議員・日本食道学会評議員
日本がん予防学会評議員・日本老年病学会理事
American Gastroenterology Association Member
American College Gastroenterology Member
American Association of Cancer Research Member
Gastroenterology Member of Editorial Board
Gut Member of Editorial Board
Am J Gastroenterology Associate Editor etc.
厚労省難病対策委員会委員長
日本医療開発機構プログラムスーパーバイザー

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
おかじま めぐみ 岡嶋 恵生	医員	消化器全般	大阪公立大学医学部 令和3年	日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会
やの ひろき 矢埜 裕暉	医員	消化器全般	京都大学医学部 令和3年	日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会
なかむら たけふみ 中村 武史	顧問	消化器全般、 慢性肝疾患の 診断と治療	京都大学医学部 昭和54年	日本内科学会認定医、日本消化器病学会(専門医・指導医)、日本消化器内視鏡学会(専門医・指導医・功労会員)、日本肝臓学会(専門医・指導医)、門脈圧亢進症学会功労会員、京都大学 医学博士

特色 消化器に多いがんの診療では常に外科・放射線科と連携し、内視鏡治療や外科的手術・化学療法(複合免疫療法や遺伝子パネルも含む)・放射線治療などから最適な治療法を選択しています。最近進歩が目覚ましい化学療法は、毎週カンファレンスを行い、個々に最適な薬剤を選択しており、緩和医療科と共同で苦痛の緩和も心がけています。拡大内視鏡、造影超音波検査、超音波内視鏡などの画像診断を駆使し、膵癌の早期診断、早期がんの内視鏡治療(ESDなど)や肝癌に対するラジオ波・マイクロ波焼灼術は特に力を入れている分野です。また増加しつつある脂肪性肝疾患の診断・治療にも実績があります。特殊検査として小腸ダブルバルーン内視鏡やEUS下IVR処置も可能となりました。また24時間オンコール対応可能な体制となっています。

主な疾患 食道癌、逆流性食道炎、胃癌、胃・十二指腸潰瘍、A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、MASLD、肝癌・肝硬変、胆道系感染(急性胆のう炎・急性胆管炎)、胆道癌、膵癌、膵炎、大腸癌、直腸癌、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病 etc.)、大腸憩室出血、膵・消化管神経内分泌腫瘍など

主な診療実績 (2024年)

名称	件数	名称	件数
上部消化管内視鏡	4,687〈止血術35、食道静脈瘤治療18、粘膜切除術14、異物除去6〉	胆・膵系内視鏡(ERCP)	163〈EST39、EBS66〉
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	70〈上部61、下部9〉	経皮・経肝的 胆道・胆嚢・肝膿瘍ドレナージ	16
内視鏡的胃瘻増設術(PEG)	4	経皮的ラジオ波・マイクロ波熱凝固療法(RFA・MWA)	82
下部消化管内視鏡	2,405〈内視鏡的切除1,101、止血術36〉	超音波ガイド下(肝)生検	34
超音波内視鏡(EUS)	501	肝動脈塞栓術(TACE)	16
超音波内視鏡下吸引針生検(EUS-TA)	28	腹部造影超音波検査	60
超音波内視鏡下嚢胞・胆道ドレナージ(EUS-CD, BD)	4	C型肝炎抗ウイルス薬導入	4
ダブルバルーン小腸内視鏡	7	術中内視鏡	6〈上部3、下部3〉
内視鏡的消化管ステント留置	9〈上部8、下部1〉		
内視鏡的消化管拡張術	14		

糖尿病・内分泌代謝センター

施設
認定

日本内科学会認定制度教育病院
日本糖尿病学会認定教育施設
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設

日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
日本病態栄養学会 栄養管理・NST実施施設
日本病態栄養学会 専門医研修認定施設

医師紹介

はまもと よしゆき
浜本 芳之
センター長

我が国は平均寿命が90歳に迫る超高齢化社会ですが、糖尿病はしっかり治療すればむしろ「一病息災」で健康的に一生を送ることができます。糖尿病の治療食は本当の意味での「健康長寿食」です。ちょっとした工夫で長く続けられる糖尿病治療を提案し、サポートさせていただきます。また、最新の糖尿病学に基づいた糖尿病治療の提供（インクレチン療法など）も実践しています。さらには、内分泌疾患にも力を入れており、どんな内分泌疾患でも診療いたします。



■出身大学 滋賀医科大学

■卒年 平成8年

■専門分野 糖尿病、代謝・栄養障害、内分泌疾患

■資格、所属学会

京都大学 医学博士
日本病態栄養学会（評議員・指導医・専門医）
日本糖尿病学会（評議員・指導医・専門医）
日本内分泌学会（評議員・指導医・専門医）
日本内科学会（総合内科専門医）
内分泌代謝・糖尿病内科領域指導医
米国糖尿病学会
欧州糖尿病学会
アジア糖尿病学会
日本肥満学会

やまだ ゆういちろう
山田 祐一郎
副院長

■出身大学 京都大学医学部

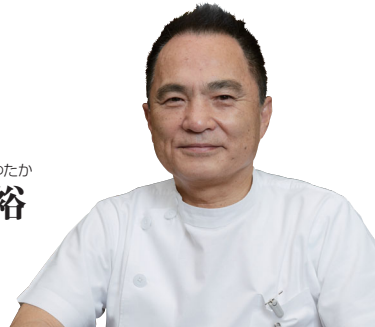
■卒年 昭和60年

■専門分野 糖尿病、代謝・栄養障害、内分泌疾患

■資格、所属学会

日本内科学会（総合内科専門医）
日本糖尿病学会（評議員・指導医・専門医）
日本内分泌学会（指導医・専門医）
日本老年医学会（指導医・専門医）
日本病態栄養学会（指導医・専門医）
アジア糖尿病学会、日本肥満学会、日本糖尿病眼学会
日本糖尿病合併症学会、米国糖尿病学会、欧州糖尿病学会

せい の ゆたか
清野 裕
総長



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和42年

■専門分野 糖尿病、代謝・栄養障害、内分泌疾患

■資格、所属学会

アジア糖尿病学会理事長
日本糖尿病協会理事長
日本病態栄養学会（理事長・指導医・専門医）
日本糖尿病対策推進会議 副会長
日本栄養療法協議会 会長
日本糖尿病学会（指導医・専門医）
日本内分泌学会（指導医・専門医）



医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
ひょう たかのり 表 孝徳	部長	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	大阪市立大学医学部 平成16年	日本病態栄養学会（学術評議員・指導医・専門医）、日本糖尿病学会（専門医）、日本内分泌学会、日本内科学会（総合内科専門医）、日本感染症学会（ICD制度協議会認定ICD）、アジア糖尿病学会、日本フットケア学会、日本甲状腺学会、日本体質医学会
やまざき ゆうじ 山崎 裕自	部長	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	京都大学医学部 平成16年	日本内科学会、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本内分泌学会、アジア糖尿病学会、日本糖尿病協会
くわた ひとし 桑田 仁司	医長 疾患栄養治療 センター長	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	神戸大学医学部 平成19年	日本内科学会、日本糖尿病学会（指導医・専門医）、日本病態栄養学会（指導医・専門医）、日本内分泌学会、アジア糖尿病学会

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
うすい りょうた 臼井 亮太	医長	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	京都大学医学部 平成21年	日本内科学会(総合内科専門医)、日本糖尿病学会 (指導医・専門医)、日本内分泌学会専門医、日本 病態栄養学会(指導医・NSTコーディネーター)、 アジア糖尿病学会
さくらまち ゆい 櫻町 惟	医長	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	京都大学医学部 平成23年	日本内科学会(認定内科医)、日本糖尿病学会 専門医、日本内分泌学会、日本病態栄養学会
やまぐち ゆうこ 山口 裕子	医員	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	京都大学医学部 平成27年	日本内科学会(認定内科医)、日本糖尿病学会専門 医、日本内分泌学会専門医、内分泌代謝・糖尿病内科 領域指導医、日本病態栄養学会、アジア糖尿病学会
おおもり やすひろ 大守 泰広	医員	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	京都大学医学部 令和3年	日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、 日本病態栄養学会
こけつ か な 古結 華奈	医員	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	三重大学医学部 令和4年	日本内科学会、日本糖尿病学会
にしおか さい 西岡 冴倭	医員	糖尿病、代謝・栄養障害、 内分泌疾患	大阪公立大学医学部 令和5年	日本内科学会

特色 当センターの特徴は、特に栄養療法とインク
レチンを用いた最新の薬物療法を駆使したテーラー
メイド診療です。充実したチーム医療で、糖尿病を持つ
人が糖尿病を正しく理解して、糖尿病治療を続けて
健康的に生活できるようサポートします。

糖尿病専門医に加え、糖尿病患者の治療を支援す
る糖尿病療養指導士(十分な経験と高度な専門資格を
もつ看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学
療法士)がチーム一丸となり、最新の医学的知見に基

づいて、患者さまが糖尿病と共に歩むことをサポート
するのも、当センターの特徴です。また、臨床心理士に
よるカウンセリングなど心理的なサポートについても
充実させています。さらに、最新の糖尿病学・研究に
基づいた糖尿病治療の提供を実践しています。

当センターでは、糖尿病に加え、高血圧症や脂質
異常症、肥満症などの代謝・栄養障害、甲状腺をはじ
め副甲状腺、副腎、下垂体などのホルモンの異常によ
る内分泌疾患の検査・診断・治療も行っています。

主な疾患 糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症、高尿酸血症(痛風)、脳下垂体疾患、甲状腺機能低下症
(慢性甲状腺炎(橋本病)など)、甲状腺機能亢進症(バセドウ病・プランマー病)、甲状腺腫瘍、副甲状腺疾患、
副腎疾患、性腺疾患、骨粗鬆症、神経内分泌腫瘍(インスリノーマ・グルカゴノーマ・褐色細胞腫など)

主な診療実績 (2024年)

糖尿病に代表される生活習慣病

年度	外来通院(人)	入院(人)	初診(人)	他施設からの紹介(人)※
2014年	30,397	586	521	388
2015年	28,405	564	705	561
2016年	30,111	531	549	456
2017年	31,175	567	557	449
2018年	32,427	494	618	504
2019年	32,736	507	587	508
2020年	30,778	401	486	411
2021年	31,736	454	623	437
2022年	31,736	388	630	492
2023年	31,246	351	643	494
2024年	29,659	352	711	518

※初診

甲状腺ラジオアイソトープ治療件数

年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
件数	31	69(甲状腺癌 26)	39(甲状腺癌 19)	55(甲状腺癌 13)	23(甲状腺癌 4)	29(甲状腺癌 5)	25(甲状腺癌 5)

内分泌疾患

名称	実績(年間)
甲状腺疾患	外来 約969人(疑い含む) 入院 約5人
副腎疾患	入院 約20人(疑い含む)
脳下垂体疾患	入院 約8人(疑い含む)
神経内分泌腫瘍	入院 約2人

血液内科

施設
認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本血液学会血液研修施設

医師紹介

い お かつひろ
井尾 克宏
部長



悪性リンパ腫や骨髄異形性症候群などの血液悪性疾患の患者さまは、高齢化社会によりますます増加しています。当科では経験豊富な専門医5名+後期研修医3名で、最新の知見に基づいた治療法を柔軟に取り入れています。高齢であっても、臓器機能が良好な患者さまには積極的に化学療法を行い、治癒を目指す一方、患者さまのご希望を尊重する姿勢も忘れずに診療にあたっています。今後も地域の御施設からのご期待に応えるべく、引き続き診療体制の拡充を図って参りたいと思います。

- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 平成14年
- 専門分野 血液悪性疾患、造血幹細胞移植
- 資格、所属学会
日本内科学会認定医
日本血液学会専門医
京都大学 臨床教授

なが い けんいち
永井 謙一
顧問



- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 昭和49年
- 専門分野 血液悪性疾患、造血幹細胞移植、院内感染対策
- 資格、所属学会
日本血液学会(専門医・指導医・功労会員)
日本内科学会指導医
日本造血・免疫細胞療法学会(造血細胞移植認定医・功労会員)
日本輸血・細胞治療学会
日本環境感染学会評議員
日本感染症学会 感染管理医師

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
きたがわ ともや 北川 智也	医長	血液悪性疾患、造血幹細胞移植	徳島大学医学部 平成21年	日本血液学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本造血・免疫細胞療法学会
いすみ きよたか 和泉 清隆	医長	血液悪性疾患、造血幹細胞移植	京都大学医学部 平成23年	日本血液学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本造血・免疫細胞療法学会、日本癌学会、日本リンパ網内系学会
なかお けんすけ 中尾 健介	医長	血液全般	福井大学医学部 平成24年	日本内科学会、日本血液学会、日本リンパ網内系学会
かきはら ぶんた 柿原 文太	医員	血液全般	京都大学医学部 令和3年	日本内科学会、日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会
よしおか かずき 吉岡 和輝	医員	血液全般	京都大学医学部 令和3年	日本血液学会、日本内科学会、日本造血・免疫細胞療法学会
うえだ ゆうと 植田 勇人	医員	血液全般	大阪公立大学医学部 令和5年	日本血液学会、日本内科学会

特色

当科は血液内科専門医5名のスタッフが在籍し、また若手の後期研修医3名で血液疾患全般の治療を行っています。重度好中球減少症に対応するための無菌治療室は全部で30床備えており、2025年度にはさらに増床予定となっております。悪性リンパ腫、多発

性骨髄腫、骨髄異形成症候群、急性白血病などの患者さまを対象にした化学療法はもとより、自家造血幹細胞移植や血縁ドナーからの同種造血幹細胞移植も実施しています。近年は地域の医療関連施設の先生方との連携強化に努め、多くの紹介患者さまに御入院頂く

ようになりました。専門的治療が終了した患者さまについては、紹介頂いた御施設への逆紹介を積極的に行わせて頂きます。血液疾患を専門的に診ることができる病院が限られている中で、今後も地域の中核施設としての責任を果たしていきたいと考えています。

血液内科領域では、分子標的薬、抗体医薬品などを取り入れた新しい治療法が、急速に発展しており、当科でもそれらに対応するため、経験豊富な専門医が協力し、最新の知見を取り入れる取り組みを行っています。

一方では、先進的な治療を実践するだけでなく、患者さまやご家族が納得できる治療を、ご相談させていただきながら進めることも重要と考えています。入院生活を心地よく過ごしていただくために、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーなどがチームを組んで連携を密にすることで、一人ひとりの患者さまに合わせた医療サービスが提供できるように努めています。

主な疾患

急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病、慢性骨髄増殖性疾患、急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病

主な診療実績 (2024年)

血液の悪性疾患

名称	延べ入院患者数	新規入院患者数
急性骨髄性白血病	171	40
急性リンパ球性白血病	3	1
骨髄異形成症候群	67	27
非ホジキンリンパ腫	299	89
ホジキンリンパ腫	53	8
多発性骨髄腫	66	28
成人T細胞性白血病	5	2
慢性骨髄性白血病	9	8

その他の血液疾患

名称	延べ入院患者数	新規入院患者数
特発性血小板減少性紫斑病	11	10
再生不良性貧血	6	4
自己免疫性溶血性貧血	8	7

造血幹細胞移植

名称	延べ入院患者数	新規入院患者数
自家末梢血幹細胞移植	4	4
同種末梢血幹細胞移植	5	5



無菌治療室

腎臓内科

施設
認定

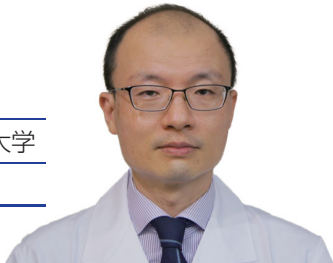
日本腎臓学会研修施設
日本透析医学会認定施設

日本アフェレンス学会認定施設

医師紹介

いし い あきら
石井 輝
部長

患者さまおひとりおひとりの病態、価値観、QOL(生活の質)、心理的状況や社会的背景等を十分に考慮しながら、慢性腎臓病初期から進行期の腎不全、透析導入に至るまで、最適な腎臓病治療を提供できるよう取り組んでいます。



- 出身大学 東京慈恵会医科大学
- 卒年 平成16年
- 資格、所属学会
京都大学 医学博士
日本内科学会(認定医・総合内科専門医・指導医)
日本腎臓学会(専門医・指導医・評議員)
日本透析医学会(専門医・指導医)
日本糖尿病学会専門医
日本高血圧学会(基礎研究推進部会メンバー)
日本内分泌学会(内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医)
日本臨床腎移植学会
日本移植学会
日本病態栄養学会
腎と脂質研究会
日本糖尿病性腎症研究会
日本腎栄養代謝研究会
米国腎臓学会

医師名	役職	出身大学 卒 年	資格、所属学会
とだ なおひろ 戸田 尚宏	医長・ 血液浄化 センター長	宮崎大学医学部 平成18年	京都大学大学院 医学博士、日本内科学会(認定医・総合内科専門医)、日本腎臓学会(専門医・指導医)、日本透析医学会(専門医・指導医)、日本腹膜透析学会評議員、国際腹膜透析学会
ひらしま ひさこ 平島 尚子	医長	神戸大学医学部 平成22年	日本内科学会(認定内科医・総合内科専門医)、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医
たけおか じゅん 竹岡 純	医員	広島大学医学部 平成30年	日本内科学会専門医、日本腎臓学会、日本透析医学会専門医
さとう りょう 佐藤 涼	医員	京都大学医学部 令和2年	日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会
もちづき こうすけ 望月 滉介	医員	京都大学医学部 令和4年	日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会
まつやま よしなお 松山 義直	医員	神戸大学医学部 令和4年	日本内科学会、日本腎臓学会、日本透析医学会
えのもと ゆり 榎本 由梨	医員	和歌山県立医科大学 令和5年	日本内科学会、日本腎臓学会
むそう えり 武曾 恵理	顧問	—	京都大学 医学博士、京都華頂大学現代生活学部・食物栄養学科 教授、日本内科学会(認定医・総合内科専門医・近畿支部評議員)、日本腎臓学会(専門医・指導医・名誉会員)、日本透析医学会専門医、日本アフェレンス学会関西地方会評議員、財団法人大阪腎臓バンク評議員、大阪慢性腎臓病総合対策協議会顧問、大阪府女医会評議員、米国腎臓学会、欧州腎臓学会、国際腎臓学会

特色

【概要】

当院腎臓内科では、腎臓専門医4名を含む腎臓内科スタッフで、腎炎やネフローゼ症候群、糖尿病や高血圧、膠原病による保存期腎不全の加療(1週間の検査入院を含む)、腎代替療法(腹膜透析、血液透析、生体腎移植の内科的管理)やシャント手術、シャントPTA、腹膜透析カテーテル挿入、さらに他施設とも連携して稀少疾患の遺伝子診断など幅広い診療分野をカバーしております。また当科では、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など多種職による医療チームで、慢性腎臓病(CKD)の全入院患者さまに対して継続的な介入をおこなっています。近年SGLT2(sodium glucose co-transporter 2)阻害薬やHIF-PH(hypoxia-inducible factor-prolyl hydroxylase)阻害薬、MRA(ミネラルコルチコイド受容体阻害薬)など腎臓病をターゲットとした新しい治療薬が次々と出てまいりました。当科ではこうした新規の治療薬も適応がある場合には積極的に導入し、腎臓病進行の防止に努めております。腎代替療法では、内シャント手術や腹膜透析カテーテル挿入術も自科でおこなっています。検査や治療に際しては、考えられる選択肢について十分に時間をかけてご説明し、納得できる意思決定が行えるよう支援させていただきます。

【診療内容】

当科ではCKD初期から進行期腎不全に至るまで継続的な介入をおこなっております。またCKD病診連携を重視しております。下記に記しますような尿検査異常や腎機能低下を認める患者さまがいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただけますと幸いに存じます。

①検尿異常(血尿、蛋白尿)

血尿・蛋白尿にて当院をご紹介いただいた場合、詳細な尿検査・血液検査・腎臓超音波検査(血流評価)・CT・MRI等を行います。諸検査にて腎疾患の可能性のある患者さまに対しては、入院して腎生検を行っております。特にIgA腎症に対する扁桃摘出・ステロイド療法やネフローゼ症候群に対する免疫抑制剤治療なども積極的に行っております。

主な疾患

急性腎障害、慢性腎臓病、IgA腎症、ネフローゼ症候群、糖尿病関連腎臓病、高血圧性腎症、膠原病関連腎臓病、血液透析、腹膜透析、生体腎移植

②腎機能悪化(血清クレアチニン上昇)を認めるが、原因が不明な方

③慢性腎臓病(CKD)で腎臓病精査が必要な方

さまざまな検査で腎機能が低下している原因を特定し、腎機能改善やさらなる悪化の予防に努めています。また必要に応じて1週間(原則として水曜日入院)のCKD検査入院をおこない、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など多種職による医療チームで血圧調整、薬剤調整、栄養管理、腎臓リハビリテーション、心血管合併症の評価などを行います。

④急性腎障害(前回と比較し血清クレアチニンが1.5倍以上上昇)

さまざまな検査で腎機能が急激に低下している原因を特定し、その原因の除去を行います。急性糸球体腎炎などの場合は腎生検で正確な診断を行い、速やかに治療を開始します。また病態に応じて透析やアフェリシスを施行します。

⑤SGLT2阻害薬やMRA(ミネラルコルチコイド受容体阻害薬)などの新規治療薬の導入が必要な方

当院で腎臓専門医が病態に応じて適切な治療薬を導入し、投与量や効果、副作用の出現などを確認し、かかりつけの先生方と連携しながら治療を進めてまいります。

⑥将来的に腎代替療法(血液透析・腹膜透析・生体腎移植)が必要になる可能性が高い方

当院では、医師、専門看護師による腎代替療法選択外来を設け、透析や腎移植などの治療について、十分な時間を確保して説明させていただいております。当院は血液透析・腹膜透析・生体腎移植の治療に対応しておりますので、患者さまのご希望にも応じて適切な腎代替療法を選択いただけます。血液透析のバスキュラーアクセス(シャント)に対するインターベンション治療(VAIVT)や再建術、腹膜透析のカテーテルトラブル等にも緊急で対応しております。透析患者さまの慢性合併症にも他科の先生方と協力して対応しております。

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
腎生検	65
内シャント手術	41
バスキュラーアクセスインターベンション治療	129
腹膜透析関連手術	33
体外循環数(透析・アフェリシス)	1,516
生体腎移植	1

リウマチ・膠原病内科



日本リウマチ学会教育施設

医師紹介

ふじ た まさ あき

藤田 昌昭

部長

関節リウマチ・リウマチ性疾患、膠原病・膠原病類縁疾患を幅広く診療しております。



■出身大学 神戸大学医学部

■卒年 平成16年

■資格、所属学会

神戸大学 医学博士

日本内科学会 (総合内科専門医・指導医)

日本リウマチ学会 (専門医・指導医)

日本感染症学会

日本臨床免疫学会

日本リウマチ学会登録ソングラファー

日本医師会認定産業医

医師名	役職	出身大学 卒 年	資格、所属学会
あねがわもとこ 姉川 修子	医員	島根大学医学部 平成30年	日本内科学会 (総合内科専門医)、日本リウマチ学会専門医
たるたにゆうすけ 樽谷 雄介	医員	神戸大学医学部 平成30年	日本内科学会 (総合内科専門医)、日本リウマチ学会専門医、日本リウマチ学会登録ソングラファー
なかがわ まあや 中川 真綾	医員	大阪医科薬科大学 令和3年	日本内科学会、日本リウマチ学会
やまもと ゆういちろう 山本 悠一郎	医員	大阪公立大学医学部 令和5年	日本内科学会、日本リウマチ学会
やぎ た まさと 八木田 正人	非常勤 医師	慶應義塾大学医学部 昭和53年	京都大学 医学博士、日本内科学会 (総合内科専門医・指導医・認定内科医)、日本リウマチ学会 (専門医・指導医・功労会員)、日本血液学会 (専門医・指導医)、日本リウマチ財団登録医、北野病院 客員研究員、国際癌学会 (UICC) Fellow
おかざき みずえ 岡崎 瑞江	非常勤 医師	大阪市立大学医学部 平成9年	大阪市立大学 医学博士、日本内科学会 (認定医・総合内科専門医)、日本腎臓学会専門医、日本リウマチ学会専門医

特色

〇リウマチ膠原病内科の診療について

藤田を中心に関節リウマチ・膠原病の診療にも対応しております。当院では2020年4月、新たに「リウマチ・膠原病内科」を発足いたしました。当科では、関節リウマチや膠原病の診療には経験豊富な医師（日本リウマチ学会指導医2名（八木田、藤田）、専門医2名（岡崎、姉川）が診療に当たります。

関節リウマチや膠原病は免疫の異常が原因と考えられており、全身のあらゆる臓器に病変をきたす可能性があります。リウマチ膠原病内科が中心となって診断・治療を進めていきますが、整形外科、腎臓内科、呼吸器内科、眼科、皮膚科、整形外科などの多くの診療科と連携して診療していきます。

当院のリウマチ膠原病内科の特徴：

- ① 当科はもともと腎臓内科・リウマチ膠原病内科として発足しているため、腎臓内科と特に結びつきが強いことがあります。関節リウマチや膠原病の難治性病態には、白血球除去療法、顆粒球・単球吸着療法や血漿交換などの治療が必要なこともあります。このような状況に際は速やかに対応することができます。
- ② 当科では多くの患者様にステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤を使用します。治療は長期間に及ぶことが多く、生涯継続することもあります。また、感染症などの併発により急な状態の変化を引き起こすこともあります。当院は24時間体制で救急医療に対応しており、安心して治療を継続することができます。

主な疾患

〇関節リウマチ及びリウマチ性疾患

関節リウマチ(RA)、リウマチ性多発筋痛症(PMR)、成人スティル病(AOSD)、RS3PE症候群、乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、脊椎関節炎、反応性関節炎、SAPHO症候群

〇膠原病

全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎・皮膚筋炎(PM/DM)、混合性結合組織病(MCTD)、強皮症、高安動脈炎(大動脈炎症候群)、巨細胞性動脈炎(GCA)、結節性動脈周囲炎、顕微鏡的多発血管炎(MPA)、多発血管炎性肉芽腫症(GPA)、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)、抗リン脂質抗体症候群(APS)、シェーグレン症候群

〇その他の膠原病類縁疾患

ベーチェット病、サルコイドーシス、アミロイドーシス、IgG4関連疾患、再発性多発軟骨炎、Castleman病、TAFRO症候群、がんの免疫療法に伴う免疫関連副作用(irAE)

- ③ 関節リウマチは初期に診断することが重要な疾患の一つです。時間の経過とともに関節破壊が進行する恐れがあります。従来はレントゲン撮影により関節の状態を評価していましたが、初期の関節病変はレントゲンでは捉えられないこともあります。このため、当科では外来診察室に関節エコー検査装置を常備し、早期の関節リウマチの診断を目指しております。藤田は日本リウマチ学会登録ソノグラファーの認定を受けております。2022年度は1,025件、2023年度は1,056件、2024年度は1,104件の実績があります。

当科の紹介受診を希望される方へ：

リウマチ膠原病疾患の診断治療には、発症の経過、病歴、治療歴が非常に重要になってきます。このため、現在、他院にかかられている場合は、同医院・同施設より診療情報をいただき、当院の地域連携センターを通しての予約をお願いいたします。

また、不明熱（原因のわからない発熱が3週間程度持続）でも原因をよく調べると膠原病であることが多くあります。さらに抗核抗体やリウマチ因子の陽性などの免疫異常は膠原病でよく見られます。このように、膠原病が心配な場合もご相談下さい。


脳神経内科

施設
認定

日本神経学会専門医制度教育施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院(施設)
日本臨床神経生理学会認定教育施設


日本認知症学会認定教育施設
日本睡眠学会専門医療機関

医師紹介



はまの としあき
濱野 利明
部長

頭痛、しびれ、ふるえ、筋力低下、めまい、ふらつきなどのある方はご相談ください。
脳卒中は救急疾患です。すぐに受診してください。



たちばな なおこ
立花 直子
部長・睡眠関連疾患センター長

睡眠中のおかしな事象(無呼吸、動き、寝言)や異常な眠気、居眠りのある方を中心に診療しています。CPAP治療中だがうまく使えない方にも対応しています。

■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和60年

■専門分野 脳神経内科一般、筋電図

■資格、所属学会
日本神経学会(専門医・指導医)
日本神経治療学会
日本内科学会(認定医・指導医)
日本末梢神経学会
日本臨床神経生理学会(専門医・指導医)
京都大学医学部 臨床教授

■出身大学 大阪大学医学部

■卒年 昭和58年

■専門分野 睡眠医学

■資格、所属学会
日本臨床睡眠医学会理事
日本神経学会専門医
日本睡眠学会(専門医・評議員)
日本臨床神経生理学会(専門医・指導医)
日本パーキンソン病・運動障害疾患学会
大阪大学大学院医学系研究科連携大学院 招へい教授

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
みはら たけなお 三原 丈直	部長	睡眠医学	九州大学医学部 平成12年	日本臨床睡眠医学会、日本耳鼻咽喉科学会(専門医・指導医・補聴器相談医)、日本睡眠学会専門医、日本登山医学会(国際山岳医)、日本口腔咽頭科学会、日本嚥下医学会、日本めまい平衡学会(めまい相談医)
つぎき こうじ 津崎 光司	部長	脳神経内科一般	大阪大学医学部 平成20年	日本神経学会(専門医・指導医)、日本内科学会(認定医・総合内科専門医・指導医)、日本認知症学会(専門医・指導医)、日本脳卒中学会専門医、日本臨床神経生理学会(専門医・指導医)、日本感染症学会専門医、日本頭痛学会、日本神経免疫学会
わだ しんいち 和田 晋一	医長	脳神経内科一般	大分大学医学部 平成22年	日本内科学会(認定医・総合内科専門医・指導医)、日本神経学会(専門医・指導医)、日本脳卒中学会(専門医・指導医)、日本臨床睡眠医学会、日本臨床神経生理学会専門医、日本睡眠学会、日本頭痛学会専門医
うえはら なおこ 上原 尚子	医長	脳神経内科一般	大阪医科大学 平成23年	日本神経学会(専門医・指導医)、日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本臨床神経生理学会専門医、日本てんかん学会専門医、日本パーキンソン病・運動障害疾患学会
いながき やすのぶ 稲垣 泰申	医員	脳神経内科一般	和歌山県立医科大学 平成31年	日本神経学会、日本内科学会、日本脳神経血管内治療学会、日本脳卒中学会、日本臨床神経生理学会
ながおか さゆ 長岡 紗由	医員	脳神経内科一般	熊本大学医学部 令和2年	日本神経学会、日本内科学会
みつ い ころう 三ツ井 吾朗	医員	脳神経内科一般	長崎大学医学部 令和3年	日本神経学会、日本内科学会
いちやなぎ あきこ 一柳 明希子	医員	脳神経内科一般	神戸大学医学部 令和4年	日本神経学会、日本内科学会

特色

脳神経内科は、中枢神経(脳や脊髄)・末梢神経・筋肉の障害によっておきる病気を診断し治療する診療科です。脳卒中、偏頭痛、てんかん、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎などの病気の診療を行っています。頭痛、手足のしびれ、ふるえ、歩きにくさ、筋力低下、めまい、ふらつき、物忘れなどの症状がある方はご相談下さい。

特に脳卒中は命にかかわることのある病気です。後遺症が残ることもあります。半身のしびれや麻痺、言語障害、ふらつき、意識障害などが突然現れた場合は、すぐに病院で治療を受ける必要があります。脳神経内科では脳神経外科と協力して夜間でも血栓溶解療法や血管内治療を行える体制をとっています。

最近、アルツハイマー病をはじめとする認知症の患者数の増加が世界的に問題になってきています。脳神経内科ではCTやMRIなどの画像検査、脳血流シンチ、各種知能検査などの詳しい認知症の検査を行っています。治療が可能な認知症や、アルツハイマー病の進

行を遅らせる薬もありますので、認知症が心配な方は早めに受診してください。

末梢神経や筋肉の病気については、筋電図や神経伝導検査、超音波、MRIなどを駆使し、専門的な診断を行っています。ガンマグロブリンの点滴や血漿交換などの治療も多数行っています。

また、睡眠覚醒外来では専従医が予約制で診療を行っています。いびきや無呼吸、耐え難い眠気、夜中に寝ぼけたような行動がおきる、足が不快でじっとできないために眠りにくいといった症状がある方が対象です。安全精度管理下で行う終夜睡眠ポリグラフ検査(睡眠の精密検査)の施設基準もクリアしており、睡眠を専門とする技師が常時監視にて睡眠時の様子を観察し、その結果を診断や治療につなげています。すでにCPAPを使用しているが、CPAPの圧設定やマスクフィッティングが十分でないためにうまく使えない方についても治療の見直しを行っています。

主な疾患

片頭痛、緊張型頭痛、脳梗塞、アルツハイマー病、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、てんかん、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多発性硬化症、多発性筋炎、筋ジストロフィー、重症筋無力症、髄膜炎、脳炎、睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシー、レム睡眠行動異常症、下肢静止不能症候群(レストレスレッグズ症候群、むずむず脚症候群)

主な診療実績

(2024年度)

入院患者数

名称	人数
睡眠関連疾患(睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシーなど)	194
変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS、アルツハイマー病など)	109
脳卒中(脳梗塞、脳出血など)	83
発作性疾患(てんかん、頭痛、めまいなど)	33
末梢神経疾患(ギランバレー症候群、CIDPなど)	37
筋疾患(多発筋炎など)	19
感染症(髄膜炎、脳炎など)	15
脊髄・脊椎疾患(脊髄炎など)	4
脱髄疾患(多発性硬化症など)	11
その他(水頭症、脳腫瘍、代謝性疾患など)	44

検査件数

検査内容	件数
頭部MRI	481
頭部CT	274
SPECT(脳血流シンチ、心筋シンチなど)	121
脳波	310
誘発筋電図(検査神経数)	3,123
針筋電図(検査筋数)	577
大脳誘発電位	121
終夜睡眠ポリグラフ検査	200
睡眠潜時反復測定検査	27

消化器外科



日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設

外科周術期感染管理教育施設

医師紹介

こうもと いずみ

河本 泉

外科部長、消化器外科部長

食道、胃、大腸、肝臓、膵臓などの悪性・
良性疾患や鼠径ヘルニアの治療を行って
います。当科では腹腔鏡手術、ロボット
支援下手術を導入して低侵襲手術・機能
温存手術に積極的に取り組んでいます。
気軽に相談ください。気軽に相談
ください。



■出身大学 北海道大学医学部

■卒年 平成5年

■専門分野 消化器外科、膵臓外科、消化器神経内分泌腫瘍

■資格、所属学会

京都大学 医学博士
京都大学 医学部臨床教授
日本外科学会(専門医・指導医)
日本消化器外科学会(専門医・指導医)
日本神経内分泌腫瘍研究会(理事・ガイドライン作成委員会副委員長)
日本病態栄養学会(専門医・指導医・評議員)
日本膵臓学会(認定指導医)
日本癌治療認定医機構認定医
近畿外科学会評議員
日本内視鏡外科学会
日本肝胆膵外科学会
日本内分泌外科学会
日本癌治療学会
日本臨床腫瘍学会
日本食道学会
日本大腸肛門病学会
European Neuroendocrine Tumor Society 会員

よしざわ あつし

吉澤 淳

消化器外科部長



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成9年

■専門分野 消化器外科、肝臓(移植)

■資格、所属学会

京都大学 医学博士
日本外科学会(専門医・指導医)
日本消化器外科学会(専門医・指導医)
日本移植学会認定医、日本肝胆膵外科学会
日本小児外科学会、日本肝移植学会
日本適合性学会、近畿外科学会(評議員)

たき よしろう

滝 吉郎

院長



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和51年

■専門分野 消化器外科、肝臓外科

■資格、所属学会

京都大学 医学博士
京都大学 医学部臨床教授
日本外科学会(専門医・指導医・代議員)
日本消化器外科学会指導医
日本肝胆膵外科学会評議員
日本病態栄養学会評議員
近畿外科学会評議員
日本内視鏡外科学会
日本臨床外科学会
日本癌治療学会
日本肝癌研究会
日本大腸癌研究会
GIST研究会

いまむら まさゆき

今村 正之

神経内分泌
腫瘍センター長



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和40年

■専門分野 消化器神経内分泌腫瘍、膵臓外科

■資格、所属学会

京都大学 医学博士
京都大学 名誉教授
日本神経内分泌腫瘍研究会(初代理事長)
日本外科学会(名誉会長・指導医)
日本膵臓学会名誉会員
日本内分泌外科学会名誉会員
日本消化器外科学会特別会員
日本食道学会名誉会員
American College of Surgeons会員
American Association of Endocrine Surgeons Senior Member
Society of University Surgeons名誉会員
Society Internationale Chirurgie会員

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
いなもと おさむ 稲本 道	部長	消化器外科 内視鏡外科	神戸大学医学部 平成18年	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会(技術認定(膵臓))、日本肝胆膵外科学会、日本臨床外科学会、日本膵臓学会、近畿外科学会(評議員)
おかわ りょうたろう 尾川 諒太郎	医長	消化器外科 内視鏡外科	滋賀医科大学 平成21年	京都大学 医学博士、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本大腸肛門病学会、日本ロボット外科学会、日本癌治療認定医機構認定医
にしやま かずひろ 西山 和宏	医長	消化器外科	関西医科大学 平成24年	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本胃癌学会
ふじもと たかし 藤本 貴士	医員	消化器外科	宮崎大学医学部 令和2年	日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本肝胆膵外科学会
さかもと しゅうへい 坂本 周平	医員	消化器外科	京都大学医学部 令和5年	日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会

特色

消化器外科では消化器内科、腫瘍内科、放射線診断科、放射線治療科、病理部とともに消化器センターとして診療・治療にあたっており、休日・夜間を通じて専門的治療の提供に努めています。扱っている疾患は、食道癌、胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌、肝臓など悪性腫瘍や胆嚢結石症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア、痔核・痔瘻などです。膵・消化管神経内分泌腫瘍の診療に関して当院は国内のリーダー的施設の一つであり、消化器外科はその診療に当たっている神経内分泌腫瘍センターの中心的診療科で、全国から多くの患者様を紹介いただいています。

当科では低侵襲手術の導入に積極的に取り組んでおり、診療実績に示します通り2023年は全身麻酔下手術の約75%の症例を腹腔鏡下に行いました。2023年より直腸腫瘍に対してロボット支援下手術を導入しており、2024年からは結腸腫瘍に対しても開始しました。今後結腸手術、胃癌手術へも適応を広げてまいります。また、膵腫瘍手術に対しても、その悪性度に応じた低侵襲手術を積極的に導入しており、腹腔鏡下脾

温存脾体尾部切除術、膵分節切除術など機能温存手術に積極的に取り組んでいます。

周術期の合併症や術後疼に関しても予防や軽減に努めており、患者様に安心して手術を受けていただけるよう麻酔科と協力して周術期管理を行っています。

近年、多くの悪性腫瘍の治療は手術と周術期補助療法を組み合わせるなど集学的治療が行われるようになってきました。また、腹腔鏡内視鏡合同手術(LECS)のように複数の診療科で共同して手術を行うことも多くなってきました。当院では良性・悪性疾患にかかわらずシームレスに診療が行えるよう消化器センター内および関連診療科で密に連携を取っています。

消化器疾患で外科的治療が必要なあるいは消化器疾患が疑われる患者様がおられましたら是非ご紹介ください。また、夜間・休日にかかわらず院外からの診療要請に対して常に緊急対応ができる体制を整えておりますので、ご紹介いただけますようお願いいたします。

主な疾患

食道癌、胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌、肝臓、膵・消化管神経内分泌腫瘍、胆嚢結石症、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、痔核・痔瘻など

主な診療実績 手術件数(2024年)

名称	件数
全手術件数	400(うち全身麻酔360)
内視鏡下/ロボット支援下手術	282
緊急手術	100
胃全摘術	4 (4)
幽門側胃切除術/その他胃切	17 (16)
結腸切除術	29 (25*1)
直腸前方切除術	17 (16*2)
直腸切断術	1 (1)

*1) うち1件はロボット支援下手術

*2) うち10件はロボット支援下手術

名称	件数
肝切除術	5 (2)
膵頭十二指腸切除・膵全摘術	3
脾体尾部切除・核出術など	6 (4)
胆のう摘出術・拡大胆嚢摘出術	77 (75)
虫垂切除術	45 (45)
ヘルニア手術	84 (60)
痔核・痔瘻手術 良性肛門疾患	4

※括弧内はうち鏡視下手術の件数

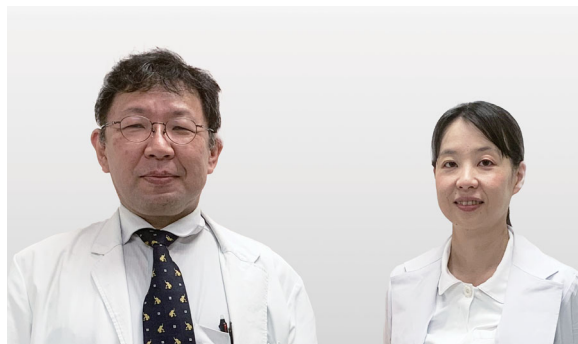
乳腺外科



日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本乳癌学会関連施設

医師紹介

さとう ふみあき
佐藤 史顕
乳腺外科部長



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成3年

■専門分野 乳線外科

資格、所属学会

京都大学 医学博士、日本外科学会専門医、日本乳癌学会(評議員・専門医)、
日本人類遺伝学会(臨床遺伝専門医)、日本遺伝性腫瘍学会(遺伝性腫瘍専門医)、
日本乳房オンコプラスチックサージェリー学会、日本癌学会、
日本癌治療学会、日本臨床外科学会、日本遺伝カウンセリング学会、
精中委検診マンモグラフィ読影医、精中委乳がん検診超音波検査実施・判定医師(A判定)、
京都乳癌研究ネットワーク(KBCRN)理事

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒年	資格、所属学会
つねかわしょうじ 恒川 昭二	非常勤 医師	乳腺外科	愛媛大学医学部 昭和58年	日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医、精中委マンモグラフィ読影医(A判定)、日本癌治療認定医機構(暫定教育医)近畿外科学会評議員、日本肉腫学会代議員、日本乳癌検診学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本大腸肛門学会
きそ まりな 木曾 末厘乃	非常勤 医師	乳腺外科	滋賀医科大学 平成16年	京都大学医学博士、日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会(乳腺専門医・乳腺指導医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、日本内科学会内科認定医、日本医師会認定産業医、精中委検診マンモグラフィ読影医、日本人類遺伝学会
とりしま まさこ 鳥嶋 雅子	非常勤 認定遺伝 カウンセラー	遺伝 カウンセリング	千葉大学医学部 平成7年	日本人類遺伝学会(評議員:認定遺伝カウンセラー)、日本遺伝カウンセリング学会、日本遺伝性腫瘍学会(評議員:家族性腫瘍カウンセラー)、日本臨床腫瘍学会

特色

乳腺外科では乳腺の疾患、特に乳癌の診療を行っています。乳癌は女性のがんの中で最も多く起こるがんで、年々増えています。乳癌と診断された患者さまは、癌と言われただけでも精神的に大変な中、癌を治すこと以外にも、遺伝、整容性、妊孕性温存といった、多くの事柄に対応しなければなりません。当科では、それらの事柄を時間をとって説明し、患者さまに理解し、納得して治療法を選んでもらえるように努めています。関西電力病院は大阪府がん診療拠点病院の指定を受けており、3名の乳腺専門医を擁しています。乳腺外科は外来化学療法室、緩和ケアチーム、栄養支持チーム、リハビリテーションなどと協力して包括的ながん治療を行っています。

【対象】大阪市乳癌検診対象者、検診要精査の結果を受けられた方、乳房に自覚症状のある方、他院で乳癌と診断された方、乳癌術後のフォローを望まれる方など、乳房・乳癌に関わる方全般に、受け入れをしています。

【診断】乳房MRIを専門にする放射線診断医と密に連携し、精度の高い乳癌診断を心がけています。針生検も局所麻酔で痛みを極力抑えて行います。

【手術】患者さまが安心できるように、根治性と整容性を兼ね備えた手術、合併症の少ない手術を目指しています。

【遺伝性乳癌卵巣癌症候群・HBOC】当院では乳腺外科・婦人科併せて、常勤医に臨床遺伝専門医が計3名おり、非常勤の認定遺伝カウンセラーとともに、遺伝カウンセリングを行なっています。親族へのケアも手厚く行い、癌発症、未発症症例ともに、適切なサーベイランス、リスク低減卵巣卵管切除(婦人科)・乳房切除(当科)へ結びつけています。HBOC以外の遺伝性疾患に対するカウンセリングも受け入れています。気軽にご相談ください。

【化学療法】化学療法の専門家の腫瘍内科医師、化学療法室スタッフと共に、安全な化学療法が行えるように取り組んでいます。OncotypeDx等の新しいツールを積極的に活用し、化学療法の適応も慎重に適格症例を見極めていきます。当院では、化学療法中の整容

性維持のため、Paxmanの頭皮冷却システムによる頭髮脱毛軽減の治療も行なっています。

【乳房再建】乳房再建の症例数は、全国平均では全乳癌症例の2-3%と、まだまだ高くありません。当院では形成外科と協力し乳房再建に力を入れており、毎年10%程度の乳癌患者さまが乳房再建を選ばれています。

【リンパ浮腫】乳癌術後の患者さまには、低頻度ながら患側上肢のリンパ浮腫を起こす方がおられます。このQOLを損ないかねないリンパ浮腫に対して、形成外科による院内のリンパ浮腫ケア外来にて、リンパマッサージ、弾性スリーブ、リンパ管静脈吻合術(LVA)にてケアを行なっています。

主な疾患 乳癌、葉状腫瘍、乳腺線維腺腫、乳腺症、乳腺炎、女性化乳房症(男性)、副乳、遺伝性腫瘍、乳輪下膿瘍、化学療法中の副作用への対応、など

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
総手術件数	計127
1)乳腺悪性腫瘍手術	計107
乳房温存手術	20
乳房切除術	25
乳頭・乳輪温存全乳腺切除+同時再建	5
皮膚温存全乳腺切除+同時再建	2
センチネルリンパ節生検	44
腋窩リンパ節郭清	7
その他	4
2)良性疾患手術	計5
乳腺腫瘤摘出術	3
乳輪下膿瘍根治術	2
3)その他	計15
CVポート留置術	10
CVポート抜去術	5
生検	計165
吸引式乳腺生検	59
Core Needle生検	5
Fine Needle細胞診	100
皮膚生検	1
大阪市乳癌検診	計92
マンモグラフィー	82
超音波	10

心臓血管外科

医師紹介

すえなが えつろう

末永 悦郎

部長



冠動脈バイパス手術、弁膜症手術、大動脈瘤手術を主に行っております。希望があれば小切開による低侵襲手術も行っています。急性大動脈解離など救急疾患にも対応しています。

■出身大学 佐賀医科大学

■卒年 平成元年

■専門分野 心臓血管外科全般

■資格、所属学会

医学博士

日本心臓血管外科(専門医・修練指導医)

日本外科学会(専門医・指導医)

日本胸部外科学会(認定医・指導医)

日本低侵襲心臓手術学会認定医

腹部ステントグラフト実施医

胸部ステントグラフト実施医

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
へい ま だいすけ 平間 大介	部長	心臓血管外科全般	鹿児島大学医学部 平成15年	医学博士 心臓血管外科専門医 日本外科学会専門医

特色

当科は2016年4月に開設し診療を開始しました。循環器内科と協力し内科・外科の垣根を越えた循環器チームとして循環器疾患に対する診療にあたっております。

これまで約600例の開心術を行いハートチームとして安定した成績をあげています。

夜間の急患にも対応できるようになりました。これにより急性大動脈解離のみならず心筋梗塞に伴う左室破裂、乳頭筋断裂による急性心不全など重症の緊急手術を行い患者さまの救命に成功しています。高齢者や難手術であっても1人1人の状態にあわせ、安心・安全かつベストな手術を行うことで、納得いただける医療を提供しています。

- 冠動脈バイパス術では、動脈グラフトを使用した多枝バイパスを行っておりますが、症例に応じて脳合併症や腎機能への侵襲が少ない小切開のオフポンプ手術(MICS CABG)を行っています。
- 大動脈弁・僧帽弁はできる限り弁置換ではなく自己弁を温存した弁形成術に取り組んでいます。患者さまのニーズに応じては早期に社会復帰できる小切開心臓手術(MICS)を行っています。
- 大動脈二尖弁や大動脈弁輪拡張症に対しては自己大動脈弁を温存して大動脈基部を人工血管に置換する「自己弁温存大動脈基部置換手術」を積極的に行います。
- 胸部、腹部大動脈瘤に対してはステント治療の施設認定を取得し低侵襲な治療を行っています。
- 急性大動脈解離の手術は、搬送後すみやかな手術開始、症例の容体や年齢に応じた適切な置換範囲の決定、良好な結果を得ています。

主な疾患

心臓疾患・虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞、虚血性心筋症)、弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、三尖弁疾患)・心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症)・不整脈(心房細動、心室性不整脈)・その他の心臓疾患(心臓腫瘍、心膜疾患)大動脈疾患・大動脈瘤(胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、腹部大動脈瘤)・大動脈解離(急性A型大動脈解離、急性B型大動脈解離)・肺血栓塞栓症末梢血管疾患・閉塞性動脈硬化症・急性動脈閉塞症など

主な診療実績 (2024年)

虚血性心疾患	件数
人工心肺を使用しない心拍動下冠動脈バイパス術	1
人工心肺を使用する心停止下冠動脈バイパス術	13
小切開心拍動下冠動脈バイパス術	1
弁膜症手術	件数
僧帽弁形成術(人工腱索、人工弁輪)	7
大動脈弁置換術(生体弁、機械弁)	18
僧帽弁置換術(生体弁、機械弁)	2
三尖弁輪縫縮術(人工弁輪)	2
小切開弁膜症手術	3
大動脈瘤手術	件数
上行大動脈置換術	8
大動脈基部置換術	2
弓部大動脈全置換術	6
胸腹部大動脈置換術	1
腹部大動脈置換術	2
ステントグラフト内挿術(オープンステント内挿術)	4
不整脈手術	件数
メイズ手術	2
心筋梗塞合併症手術	件数
心室瘤切除術	2
心室中隔穿孔閉鎖術	1
動脈閉塞症手術	件数
バルーンによる血栓除去手術	6
人工血管、自家静脈によるバイパス手術	3
血栓内膜切除術(TEA)	4
先天性手術	2



内視鏡による小切開心臓手術

整形外科

施設認定

日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医施設

日本手外科学会専門医研修施設(基幹施設)
日本リウマチ学会教育施設

医師紹介

おおた そういち

太田 壮一

部長

年齢や生活様式の異なる様々な患者さまのニーズに合わせて、最適と考える治療方法を提案、提供したいと考えています。

出身大学 京都大学医学部

卒年 平成7年

専門分野 手・肘関節外科、脊椎・末梢神経外科、整形外科

資格、所属学会
京都大学医学博士、京都大学医学部 臨床教授、日本整形外科学会(専門医・指導医)、日本手外科学会(専門医・指導医・代議員)、日本リウマチ学会専門医、日本脊椎脊髄病学会指導医、脊椎脊髄外科専門医、日本肘関節学会評議員、日本末梢神経学会評議員、日本マイクロサージャリー学会評議員、日本肩関節学会、中部日本整形外科災害外科学会評議員、中部日本手外科学会評議員、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、日本整形外科学会認定スポーツ医、米国整形外科学会



いげき まさのり

井関 雅紀


部長

出身大学 島根医科大学

卒年 平成14年

専門分野 脊椎・脊髄外科

資格、所属学会
京都大学 医学博士、日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会指導医、脊椎脊髄外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本脊椎インストゥルメンテーション学会、日本脊椎脊髄神経手術手技学会、日本低侵襲脊椎外科学会、日本MIST学会、中部日本整形外科災害外科学会、日本骨感染症学会、Infection Control Doctor



医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
しふや ひでゆき 瀧谷 秀幸	部長	リウマチ関節外科、 人工関節(股関節、膝関節)、 関節外科(膝関節鏡)	京都大学医学部 平成14年	京都大学 医学博士、日本整形外科学会専門医、 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション 医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本人工 関節学会、日本リウマチ学会、日本股関節学会
かいざわゆきとし 貝澤 幸俊	医長	手・肘関節外科、 末梢神経外科、 マイクロサージャリー	京都大学医学部 平成18年	京都大学 医学博士、日本整形外科学会専門医、日本 手外科学会専門医、日本マイクロサージャリー学会、 日本末梢神経学会、日本肘関節外科学会、日本中部 手外科学会、米国手外科学会国際会員
せきぐち かずや 関口 和也	医長	脊椎・脊髄外科	京都大学医学部 平成20年	日本整形外科学会専門医、日本脊椎脊髄病学会、 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
ふなもと ちさと 船本 知里	医長	手・肘関節外科、 脊椎・末梢神経外科	琉球大学医学部 平成26年	日本整形外科学会専門医、日本手外科学会専門医、日本 脊椎脊髄病学会、日本肘関節学会、日本骨折治療学会、 日本末梢神経学会、日本リハビリテーション学会、中部 日本整形外科災害外科学会、日本整形外科学会認 定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医
なかにし ゆうと 中西 優斗	医員	整形一般	京都大学医学部 令和2年	日本整形外科学会、中部日本整形外科災害外科学会
いじり けんた 井尻 健太	医員	整形一般	大阪医科薬科大学 令和3年	日本整形外科学会、中部日本整形外科災害外科学会
さの しゅうが 佐野 宗我	医員	整形一般	富山大学医学部 令和4年	日本整形外科学会

特色

我々は手術を中心とした整形外科疾患の治療を行っています。現在、整形外科疾患は多岐に渡ります。その中で、手や脊椎・末梢神経の疾患を中心に、四肢の外傷や変性疾患にも重点を置き、関節鏡や内視鏡を用いた最小侵襲手技、顕微鏡を用いたマイクロサージャリー技術、3次元CTを用いた術前計画やナビゲーションシステムといった最先端の手術支援技術・機器を数多く導入し、安全性や正確性を重視した手術を行っています。脊髄・末梢神経領域では、完全内視鏡下脊椎手術も導入しており、胸郭出口症候群などの腕神経叢領域の障害も精査の上、手術を行っています。

関節外科においては、ナビゲーションシステムを使用した筋腱温存型の最小侵襲人工股関節置換術に加え、膝関節、肩関節、肘関節、指関節などの人工関節置換術、変形性膝関節症に対し元の骨を温存する高位脛骨骨切り術も対象を限定して行っています。肩腱板断裂や肩関節反復性脱臼に対しては低侵襲な関節鏡下修復術を行い、術後のリハビリテーションにも力を入れています。整形外科の様々な疾患に対し、臨床所見、画像診断、生理学的検査などの結果だけでなく、患者さまのニーズに合わせて最適と考える治療を提案いたします。

主な疾患

手根管症候群、肘部管症候群、胸郭出口症候群などの末梢神経障害、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、靱帯骨化症などの脊椎疾患、舟状骨偽関節、キーンベック病、母指CM関節症、変形性指関節症などの指・手関節疾患、腱・靱帯損傷や骨折を含む四肢の外傷、骨折変形治療、関節リウマチ、変形性股関節症、変形性膝関節症、腱板断裂などの肩関節疾患、外反母趾などの足部疾患

主な診療実績 (2024年)

1日平均外来患者数 38.5人/日 平均入院患者数 30.2人/日
手術件数

名称		手術数	
脊椎・脊髄外科 (腫瘍を含む)	頸 椎	26	
	胸・腰椎	73	
	脊髄腫瘍	3	
関節外科	股関節	人工関節	20
		人工骨頭	21
		その他	5
	膝関節	人工関節	21
		単顆置換	2
		靱帯再建	3
		半月板	27
		その他	12
	肩関節	人工関節・人工骨頭	1
		腱板修復	32
		その他	7
	足関節・足部関節	関節固定術	1
		その他	5
外傷外科	骨接合術	上 肢	135
		下 肢	74
	その他		99
手外科 (骨接合術、再接着術は外傷外科に含める)	関節手術	34	
	腱・靱帯手術	60	
	その他(腱鞘切開を含む)	10	
末梢神経手術(肘部管症候群、手根管症候群はここに含める)		40	
骨軟部腫瘍		17	
手術総数		728	
マイクロサージャリー(脊椎手術以外でマイクロを使ったものすべて)		7	

脳神経外科

施設
認定

日本脳神経外科学会認定専門医研修施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院(施設)

医師紹介



ふじもと やすひろ

藤本 康裕

副院長

■出身大学 大阪大学医学部

■卒年 昭和59年

■専門分野 脳神経外科全般

■資格、所属学会

日本脳神経外科学会(専門医・指導医)
日本脳卒中学会脳卒中(専門医・指導医)
日本脳卒中の外科学会技術指導医
厚労省認定臨床研修プログラム責任者・指導医
日本救急医学会認定ACLSインストラクター・JPTEC
プロバイダー
日本医師会認定産業医
大阪市身体障害福祉法指定医師
(元)大阪大学医学部非常勤講師

なかじま ひでき

中島 英樹

主任部長

患者さまの幸福のために、脳神経外科として
質の高い医療を提供いたします。



■出身大学 大阪市立大学医学部

■卒年 平成7年

■専門分野 脳血管外科、脳腫瘍外科

■資格、所属学会

日本脳神経外科学会(専門医・指導医)
日本脳卒中学会(専門医・指導医)
日本脳卒中の外科学会技術指導医

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
たかさき もりお 高崎 盛生	部長	脳血管内治療、 頸部頸動脈狭窄症	大阪市立大学医学部 平成16年	日本脳神経外科学会(専門医・指導医) 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医
ほんごう たく 本郷 卓	医長	水頭症、神経内視鏡	徳島大学医学部 平成18年	日本脳神経外科学会(専門医・指導医)、日本 脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療 学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医
いわけ かつま 岩城 克馬	医長	脳血管内治療	神戸大学医学部 平成23年	日本脳神経外科学会(専門医・指導医)、 日本脳神経血管内治療学会(専門医・指導医)

特色

脳神経外科が担当する疾患は突然発症するものや治療の遅れが病状の悪化につながる疾患が多く、当科では24時間いつでも専門的な診療が行える体制を整えております。当院は日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(PSC)コアに認定されており、24時間365日tPA静注療法および機械的血栓回収療法が速やかに開始できる施設です。特に脳梗塞やくも膜下出血に代表される脳卒中では、閉塞した血管を速やかに再開通させたり、破裂した動脈瘤を完全に止血したりする治療を専門の担当医が迅速に行っています。

なお、常勤医5名のうち3名が脳血管内治療学会専門医であり、積極的に脳血管内治療(血栓回収術・コイル塞栓術・ステント留置術など)を行っています。

また、脳腫瘍の分野では種々の手術支援機器を併用して高い安全性と治療効果を得ており、悪性脳腫瘍に対しては抗癌剤や放射線治療を併用して標準的とされる治療を確実にを行っています。

主な疾患

脳梗塞、くも膜下出血、頸動脈狭窄症、脳動脈瘤、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、脳腫瘍

主な診療実績 (2018年～2024年)

名称		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
脳血管障害	脳動脈瘤クリッピング術	4	9	3	3	6	2	7
	脳動静脈奇形摘出術	1	0	0	1	0	0	0
	脳内血腫除去術	3	1	1	2	2	2	2
	頭蓋内血管バイパス術	2	2	3	6	3	4	7
	頸動脈血栓内膜剥離術	7	8	8	5	7	5	3
	減圧開頭術	1	0	0	0	0	2	2
脳腫瘍	悪性脳腫瘍	5	1	1	2	2	0	2
	良性脳腫瘍	5	10	4	7	2	7	4
	転移性脳腫瘍	2	7	1	0	2	0	2
頭部外傷	開頭血腫除去術	3	1	0	0	3	3	0
	穿頭血腫除去術(慢性硬膜下血腫)	30	27	32	20	16	12	22
水頭症	髄液シャント術	5	10	3	8	6	5	3
	他の水頭症手術	7	1	1	0	1	2	4
その他	三叉神経痛・片側顔面痙攣	0	2	0	0	0	0	0
	頭蓋形成術	2	4	1	0	1	2	0
	その他	3	5	3	5	4	3	6
脳血管内手術	頸動脈ステント留置術	8	8	4	5	6	6	6
	脳動脈瘤コイル塞栓術	5	5	2	2	8	9	13
	脳動脈血栓回収術	2	2	1	1	3	12	6
	他の脳血管内手術	6	7	7	2	1	9	12
合計		101	110	75	69	73	85	101

リハビリテーション科

施設
認定

日本リハビリテーション医学会認定研修施設

医師・技師紹介

えびすとしひこ

恵飛須 俊彦

部長

リハビリテーションとは、「再びふさわしい状態にもどすこと」という意味合いがあります。医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・管理栄養士・社会福祉士がチームとなり、他院から歯科の応援も加わり、機能回復医療を行っています。



■出身大学 京都府立医科大学

■卒年 昭和59年

■資格、所属学会

日本リハビリテーション医学会(専門医・指導医)

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

日本脳卒中の外科学会

日本磁気共鳴医学会

国際磁気共鳴医学会

日本神経外科コンgres

北米神経科学学会

医師名	役職	出身大学 卒 年	資格、所属学会
ひろの ひろひさ 平野 博久	医長	島根大学医学部 平成24年	日本リハビリテーション医学会専門医、日本内科学会認定医、 日本神経学会専門医、日本臨床神経生理学会専門医
さかた 坂田 ゆき	医員	久留米大学医学部 平成27年	日本リハビリテーション医学会専門医
みやもと さだはる 宮本 定治	技師長 (作業療法士)	—	日本手外科学会、日本マイクロサージャリー学会

特色

当院では、超急性期と言われるICU(集中治療室)の段階から積極的にリハビリテーションを提供しております。急性期の早期離床から回復期リハビリテーション病棟まで切れ目のない連続したリハビリテーション医療の実践が当院の特色です。

急性期病棟では医師の管理下、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が患者さま個々の病態に応じてそれぞれ専門性を発揮し、質の高い医療を提供しております。また回復期リハビリテーション病棟では365日リハビリテーションを提供できる体制を整えています。また、介護指導、住宅改修のアドバイスや退院前訪問指導なども行い、安心した在宅生活がおくれるよう支援しております。

院内外を問わずチーム医療を重視し、他職種はもちろん地域医療と連携することにより患者さまの円滑な在宅復帰を支援しております。

主な検査と疾患

骨折、人工関節、切断指再接着、腱損傷、頸椎症、TFCC損傷、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、脳腫瘍、水頭症、パーキンソン病関連疾患、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、肺がん(周術期)、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、術後無気肺、急性心筋梗塞、狭心症発作、開心術後、大血管疾患(大動脈解離、解離性大動脈瘤、大血管術後)、心不全急性増悪、誤嚥性肺炎、その他摂食嚥下機能低下を呈す疾患、悪性腫瘍(血液腫瘍も含む)又は骨転移、糖尿病教室運動指導



人員構成: 医師 3名
理学療法士 35名
作業療法士 18名
言語聴覚士 6名

施設基準: 運動器リハビリテーションI
脳血管等リハビリテーションI
呼吸器リハビリテーションI
心大血管疾患リハビリテーションI
回復期リハビリテーション病棟I
がんリハビリテーション



主な診療実績 (2024年)

患者数

名称	患者数
総合	105,150
理学療法	59,332
作業療法	34,545
言語療法	11,274

疾患別件数

名称	件数
運動器リハビリテーション	28,390
脳血管等リハビリテーション	37,104
廃用症候群リハビリテーション	8,597
呼吸器リハビリテーション	8,933
心大血管リハビリテーション	8,530
がんのリハビリテーション	10,953
摂食機能療法	228

回復期リハビリテーション病棟

重症患者割合(基準:4割以上)	47.5%
在宅復帰率(基準:7割以上)	92.4%
重症患者回復率(基準:3割以上)	65.2%
FIM実績指数(基準40以上)	44.9

専門資格

修士課程修了	15名
博士課程修了	3名
専門理学療法士(基礎)	1名
専門作業療法士(がん)	1名
認定理学療法士 (運動器、脳卒中、循環、呼吸、代謝、地域理学療法)	17名
認定作業療法士	1名
がんのリハビリテーション研修会修了	30名
心臓リハビリテーション指導士	4名
心不全療養指導士	2名
3学会合同呼吸療法認定士	8名
日本糖尿病療養指導士	3名
地域ケア会議推進リーダー	4名
介護予防推進リーダー	3名
フレイル対策推進リーダー	3名
摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	2名
終末ケア専門士	1名
ICAA認定リンパ浮腫専門医療従事者	3名
Manual therapy for voice & swallowing disorders 認定士	1名
Voice therapy spectrum 認定士	1名
ディサースリア・スーパー認定セラピスト	1名

呼吸器外科

施設
認定

呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
胸部外科教育施設協議会修練施設

医師紹介

よし むら たかし
吉村 誉史
部長

「自分や自分の家族が受けたい医療・手術」を行うよう心がけています。



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成2年

■専門分野 呼吸器外科

■資格、所属学会

日本外科学会(認定医・外科専門医・指導医)
日本胸部外科学会(認定医・正会員)
日本呼吸器外科学会(呼吸器外科専門医・評議員)
日本呼吸器学会(呼吸器専門医・指導医)
日本呼吸器内視鏡学会(気管支鏡専門医・指導医)
日本肺癌学会
日本臨床外科学会
肺がんCT検診認定機構(肺がんCT検診認定医)
日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)
京都大学 医学博士

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
たち ひでかず 館 秀和	部長	呼吸器外科、ICT	名古屋市立大学医学部 平成17年	日本外科学会外科専門医、 日本胸部外科学会、 日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医、 日本肺癌学会、 日本臨床腫瘍学会、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本感染症学会ICD制度協議会認定ICD

特色

当科は従来から、地元地域の医院、病院の先生方との連携を重視し、愚直に日々の診療に取り組んで参りました。確実な診断に基づいた最も標準的な、患者さま及びそのご家族が納得しうる治療を行うよう努めています。「自分や自分の家族が病気になったときにしてもらいたいと思える治療をする」、これが我々の基本姿勢です。地域の皆様に信頼される呼吸器外科であるよう、これからも精進していききたいと思います。

当科の特徴としては胸腔鏡を用いた小さな傷口で痛みや体への負担が少ない手術を行い、術後早期回復・合併症予防をめざし、術前後のリハビリテー

ションを積極的に行っていることが挙げられます。

肺癌治療では手術を始め、放射線治療、抗腫瘍薬物療法が三つの柱となっており、呼吸器内科、腫瘍内科、放射線治療科などとの集学的治療が重要です。関連各科との連携を良くし、毎週合同カンファレンスを開催し、手術適応・治療方針の検討を行っています。

最近では検診などですりガラス状陰影の小型末梢早期肺癌が見つかることが多く、縮小手術(標準手術である肺葉切除よりも切除範囲が少ない区域切除や部分切除など)も積極的に取り入れています。

肺癌以外にも他臓器癌からの転移性肺腫瘍、

胸腺腫をはじめとする縦隔疾患、自然気胸、膿胸などの良性疾患にも豊富な治療経験をいかし幅広く胸部疾患の治療全般に取り組んでいます。

胸腔鏡下手術とは5-10mmの内視鏡を胸腔内に挿入し、高解像度ディスプレイに映し出された胸腔内映像を見ながら進める手術です。従来、肺の手術は開胸術といい、背中から側胸部にかけて（後側方切開）や、脇の下から前胸部にかけて（前方腋窩切開）

20から30cmの長さで皮膚切開し、肋間筋を切開して、場合によっては肋骨を切断して行っていました。しかし、内視鏡を用いることによって側胸部の3-4cmの切開と補助のための2cm程の2カ所の切開で手術が行えるようになりました（完全鏡視下手術）。しかしながら、限界もあり、特に、術中出血が生じたときや癌の根治性を損なう恐れがある場合などはためらうことなく従来の開胸手術に移行しています。

主な疾患

原発性肺癌、転移性肺腫瘍、肺良性腫瘍、縦隔腫瘍、自然気胸、膿胸

主な診療実績 (2018～24年)

手術件数の年次推移

名称	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全手術件数(件)	85	92	73	70	76	74	62
全麻手術件数(件)	84	92	73	70	76	74	62
全胸腔鏡手術(件)	73	83	56	57	70	67	58
原発性肺癌手術(件)	38	47	29	40	35	38	31
(胸腔鏡手術: VATS)	(36)	(41)	(24)	(31)	(32)	(37)	(30)
転移性肺癌	5	6	7	4	6	5	4
良性肺腫瘍	3	4	2	1	1	2	2
縦隔腫瘍	5	7	8	7	11	10	4
気胸	15	15	8	4	12	6	11
膿胸	2	0	3	3	0	0	0
胸壁腫瘍	0	0	0	0	0	2	0

胸腔鏡手術(VATS)の比率推移

手術名	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
VATS/肺癌手術(%)	94.7	87.2	82.8	77.5	91.4	97.4	96.8
VATS/全麻(%)	86.9	90.2	76.7	81.4	92.1	90.5	93.5

形成再建外科

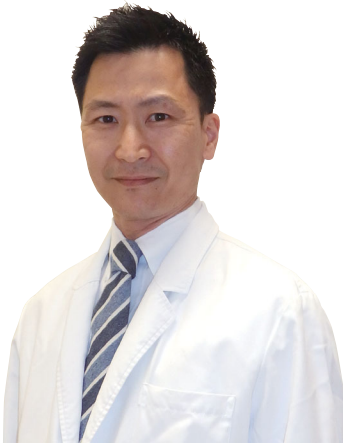
施設
認定

日本形成外科学会専門研修連携施設

医師紹介

まつすえ たけ お
松末 武雄
部長

機能と整容の両立を
目指した治療を心が
けています。患者さま
の期待にそえるよう
力を尽くします！



- 出身大学 札幌医科大学
- 卒年 平成14年
- 資格、所属学会
日本形成外科学会(専門医・領域指導医)
日本手外科学会(専門医・指導医・評議員)
日本マイクロサージャリー学会
日本形成外科学会認定再建・マイクロサージャリー分野指導医
日本創傷外科学会専門医
日本形成外科手術手技学会
日本美容外科学会
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
京都大学 臨床准教授

医師名	役職	出身大学 卒年	資格、所属学会
ほんま さちえ 本間 幸恵	医長	滋賀医科大学 平成14年	日本形成外科学会(専門医・領域指導医)、 日本外科学会専門医、 日本マイクロサージャリー学会、 日本形成外科学会認定再建・マイクロサージャリー 分野指導医、 日本創傷外科学会専門医、 日本手外科学会、 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
やの まい 矢野 舞	医長	関西医科大学 平成23年	日本形成外科学会専門医、日本形成外科手術手技学会
むらかみ たいし 村上 太志	医員	日本医科大学 平成30年	日本形成外科学会専門医、日本手外科学会
なんや こうせい 南谷 晃誠	医員	京都大学医学部 令和2年	日本形成外科学会、日本創傷外科学会
なかむら ゆう 中村 悠	医員	富山大学医学部 令和3年	日本形成外科学会

特色

形成外科は主として、体表面とそれに近い組織、器官の先天異常、外傷、腫瘍などによる障害に対し、これを形態的のみならず、機能的にも可及的 normally 再建することを目的としています。現在、形成外科専門医4名を含む6人の常勤医師体制で形成外科・再建外科の幅広い診療を行っています。また、松末は数少ない形成外科を基盤とする手外科専門医*であり、一般的な形成外科診療のほか、手指の痛み・変形や、手の外傷といった手外科診療にも力を入れています。手の診療においても機能回復だけにとど

まらず、形成外科ならではの「キズあとのケア」といった、整容面も含めた改善を目指して診療を行っているのが、当科の特色です。

*手外科専門医は整形外科あるいは形成外科の専門医を取得後、日本手外科学会が定める研修を経て試験に合格した手の診断・治療の専門家です。整形外科を基盤とする手外科専門医が多く、形成外科を基盤とする手外科専門医はまだ残念ながら少ないのが現状です。

当院の治療の特色としては、顕微鏡下に血管や神経をつなぐマイクロサージャリーを用いた、自家組織移植による形成術や、再建術を得意としています。具体的に例を挙げますと、切断指の再接着、欠損した指の再建、悪性腫瘍切除後の再建などです。とくに足趾移植による欠損指の再建手術は全国でも随一の症例数であり、過去に他院でやむを得ず切断となった患者さまも多数紹介され、再建手術を行っております。そして、機能はもちろん、外観上もできるだけ元の状態に近い指を再建するように、力を入れています。指基節部より欠損している場合でも、足趾の関節移植を組み合わせることにより、元の指の長さ・太さ・爪の大きさに近く、さらに知覚と関節の動きの一部を併せ持った指を再建することが可能です。また2009年より「マイクロサージャリー外傷センター」を開設し、積極的に四肢外傷救急治療に取り組んでおります。特に手外傷は神経血管、腱の損傷を伴うことが多く、対応できる病院自体が少ないこともあり、大阪市内のみならず広い範囲からの救急患者さまを受け入れております。

現在、以下の疾患の治療をおこなっています。

●かお、あたま

眼瞼下垂、逆まつげなど眼瞼の異常、鼻、口唇、耳の変形や異常、外傷、毛髪の欠損など

●手、足

外傷(切断、骨折、腱損傷、神経損傷など)や外傷後の二次障害(関節拘縮、腱癒着など)、指や爪などの変形や欠損、手指の変形性関節症(ヘバーデン結節、ブシャール関節、母指CM関節症)、先天異常、上肢、下肢のリンパ浮腫など

●皮膚

あざ、皮膚腫瘍、ガングリオンや、熱傷後、手術後、外傷後などのひきつれ、拘縮、醜形、ケロイドなど

●からだ

乳房の術後変形や異常、腹直筋離開など

●再建外科

事故などで失った指の移植による再建、乳ガンで失った乳房の再建、その他悪性腫瘍切除後の再建、皮膚難治性潰瘍、褥瘡、糖尿病性壊疽、難治性偽関節など

●救急医療

切断を始めとする肢指重度損傷、顔面骨折や顔面軟部組織損傷の救急治療

主な検査と疾患

切断指(肢)、欠損指の再建、手の外傷や傷病の治療、顔面骨骨折、リンパ浮腫、乳がん術後の乳房再建、下肢潰瘍

主な診療実績 (2024年)

形成再建外科新患数：393

形成再建外科入院手術：504

形成再建外科外来手術：404

名称	件数
I. 外傷	424
II. 先天異常	3
III. 腫瘍	208
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	27
V. 難治性潰瘍	107
VI. 炎症・変性疾患	84
VII. 美容(手術)	1
VIII. その他	54
合計	918

泌尿器科

施設
認定

日本泌尿器科学会専門医教育施設

医師紹介

あおやま てるよし

青山 輝義

部長

最善かつ体に負担の少ない治療、患者さまの納得のいく治療を心がけています。泌尿器科といえば、なかなかとつきにくいような印象があるかもしれませんが、まずは、今おかけの先生に相談していただいて、ご紹介いただくことで、緊密に連携し切れ目のない診療ができると思います。受診してよかったと思っていただける泌尿器科でありたいと考えています。



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成5年

■専門分野 泌尿器科悪性腫瘍、ロボット支援手術、排尿障害

■資格、所属学会

日本泌尿器科学会(専門医・指導医)

日本癌治療学会

日本泌尿器内視鏡学会

日本抗加齢医学会

日本女性骨盤底医学会

京都大学大学院 医学博士

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
さかもと ひろまさ 坂元 宏匡	部長	泌尿器悪性腫瘍、 ロボット支援手術、 尿路結石	京都大学医学部 平成15年	日本泌尿器科学会(専門医・指導医)、 日本癌学会、 日本泌尿器内視鏡学会、 泌尿器腹腔鏡技術認定医、 京都大学大学院 医学博士
つるた まさふみ 鶴田 将史	医員	泌尿器悪性腫瘍、 ロボット支援手術	京都大学医学部 平成28年	日本泌尿器科学会専門医、 日本泌尿器内視鏡学会
やの ひろひさ 矢野 博久	医員	泌尿器悪性腫瘍、 排尿障害	岐阜大学医学部 令和3年	日本泌尿器科学会
あきば だいichi 秋葉 大地	医員	泌尿器悪性腫瘍、 排尿障害	東北大学医学部 令和4年	日本泌尿器科学会

特色

尿路(腎・尿管・膀胱・尿道)、男性性器(精巣・前立腺・陰茎など)の疾患が対象です。具体的には悪性腫瘍の診断治療、良性疾患のQOL改善、結石治療などです。腎臓内科と連携して腎移植術もおこなっております。

スタッフは全員、京都大学医学部附属病院泌尿器科でトレーニングを受けています。

当院では泌尿器科各種疾患に対して、ガイドラインに準じた標準的な治療はもちろん、最新の治療機器・療法を積極的に取り入れた先進的な取り組みを行っています。

そのうちの特長をいくつかあげます。

①診断率の高い前立腺生検

前立腺癌疑いの症例に5mm間隔の格子状ガイド（テンプレートといいます）で細かく組織採取の位置調整ができる方法を用いて経会陰多部位生検を行っており、小さな癌病変でも見逃さず、診断がより正確になります。それによって診断まで生検をくりかえしたり、治療が過剰になるのを避けることができます。

②前立腺癌の先進的な医療の選択肢を提供

早期前立腺癌の治療法としてロボット支援下の痛みや負担の少ない手術・体の負担の少ない小線源治療・強度変調放射線治療（IMRT）の選択肢をすべて単独施設で提供できます。前立腺癌骨転移症例に有効なラジウム223、前立腺癌放射線治療の直腸合併症をへらすスパーサー留置をおこなっています。

主な疾患

前立腺癌、膀胱癌、腎細胞癌、前立腺肥大症、尿路結石症、間質性膀胱炎

主な診療実績（2024年）

内視鏡手術

名称	件数
経尿道的膀胱悪性腫瘍切除術	69
経尿道的前立腺手術	9
経尿道的尿管・膀胱結石破碎術	85
尿管ステント留置術	50
経尿道的電気凝固術	5
ECIRS	1
経尿道的尿管狭窄拡張術	5

開腹手術

名称	件数
膀胱全摘尿路変向術	3
回腸導管	2
後腹膜リンパ節群郭清術	2
前立腺被膜下摘除術	2

③進行膀胱癌や進行前立腺癌に対する化学療法

副作用を極力減らし、効果の長期持続が期待できるスケジュールと用量を採用しています。

④充実した機器による尿路結石治療

結石の大きさ位置により最適な治療法を選択できます。日帰りの体外衝撃波結石破碎術、Mosesモード[®]を使用したレーザー結石破碎術、細径腎盂鏡を用いた経皮的経尿道的同時結石破碎術（ECIRS）を行っています。

体腔鏡手術

名称	件数
ロボット支援下前立腺悪性腫瘍手術	21
ロボット支援下腎部分切除術	10
ロボット支援下膀胱全摘除術	2
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術	6
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	4
腹腔鏡下副腎摘出術	2

その他

名称	件数
生体腎移植術	2
前立腺小線源治療	5
前立腺生検	124
腎ろう造設術	2
包茎手術	6
陰嚢水腫手術	2
高位精巣摘除術	1
精巣外傷手術	4
体外衝撃波結石破碎術	59
前立腺金マーカー・スパーサー留置術	54

医師紹介

婦人科腫瘍に対する正確な診断と、種々の機能温存を配慮することは勿論、遺伝性腫瘍への対応やロボット手術など最新の治療を安全に実施させていただきます



つじ なつき
部長

- 出身大学 和歌山県立医科大学
- 卒年 平成17年
- 専門分野 婦人科腫瘍、遺伝性疾患
- 資格、所属学会
日本産婦人科学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本がん治療学会(がん治療認定医)
臨床遺伝専門医
遺伝性腫瘍専門医
母体保護法指定医師
ダヴィンチロボット手術有資格者



てらかわ こういち
寺川 耕市
部長

- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 平成元年
- 専門分野 婦人科腫瘍、婦人科一般、漢方診療一般
- 資格、所属学会
日本産婦人科学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本がん治療学会(がん治療認定医)
京都大学 医学博士
日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医
母体保護法指定医師
AMDA国際医療情報センター協力医
ダヴィンチロボット手術有資格者



やぎ しげたか
八木 重孝
部長

- 出身大学 和歌山県立医科大学
- 卒年 平成10年
- 専門分野 婦人科腫瘍、遺伝性疾患、周産期
- 資格、所属学会
日本産婦人科学会(専門医・指導医) 日本周産期・新生児医学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医 母体保護法指定医師
日本がん治療学会(がん治療認定医) 和歌山県立医科大学 医学博士
臨床遺伝専門医

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
なかの ただよし 永野 忠義	部長	婦人科腫瘍	兵庫医科大学 昭和54年	日本産婦人科学会(専門医・指導医)、日本婦人科腫瘍学会(専門医・指導医)、日本がん治療学会(がん治療認定医)、超音波(専門医・指導医)、京都大学 医学博士、京都大学 臨床教授、母体保護法指定医師、Best doctor in Japan 2024-2025
かわい えり 河合 恵理	医長	婦人科腫瘍 内視鏡手術	奈良県立医科大学 平成25年	日本産婦人科学会(専門医・指導医)、日本婦人科腫瘍学会、日本産婦人科内視鏡学会、日本周産期・新生児医学会、日本女性医学会、がん治療認定医、母体保護法指定医師、ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
すみの ともこ 隅野 朋子	非常勤	婦人科一般	関西医科大学 平成15年	日本産婦人科学会、日本超音波医学会、産婦人科漢方研究会、日本産婦人科内視鏡学会

特色 ・ 婦人科悪性疾患治療への取り組み

2017年4月以降、当科は婦人科悪性腫瘍に特に力をいれて取り組んでおります。

当院婦人科には経験豊富な日本婦人科腫瘍学会専門医が複数在籍しており、より専門的な治療をご提供できる体制であると自負しています。

それぞれの患者さまの病状のみならず、年齢や既往症など様々な個別の状況を考慮して腫瘍内科医師や放射線科医師も交えて全員で検討会を行い、最適な術式・治療方針を決定しています。

・ 低侵襲手術への取り組み

できる限り患者さまの痛みや傷痕を最小限にできるような術式を選択しています。良性疾患は当然として、子宮頸癌や子宮体癌にも積極的に鏡視下手術を行っています。とくに子宮頸癌での腹腔鏡下広汎子宮全摘術では腔力フを作って腹腔内への腫瘍露出を予防する工夫をすることで、再発リスクを増やさずに低侵襲な手術を実現しています。子宮筋腫・子宮体癌にはロボット支援下の子宮全摘術を積極的に行っており、より痛みの少ない術後経過をご提供できています。今年度入職した河合医師を含め、合計3名のロボット手術資格者で対応してまいります。

・ 機能温存手術への取り組み

挙児希望のある概ね2cm以下の初期浸潤子宮頸癌に対しては広汎性子宮頸部摘出術を実施しています。

また、臨床研究として初期浸潤子宮頸癌に対するセンチネルリンパ節生検を利用した系統的リンパ節郭清省略を行っており、安全に不必要なリンパ節郭清を省略することでQOL向上を実現しています。卵巢温存が可能と思われる症例については卵巢温存をご提案しています。その際、下腹部皮下に卵巢を異動固定することで、再発の有無のフォローアップが可能な状態での卵巢温存を実現しています。

・ 遺伝性腫瘍への取り組み

卵巢癌患者に対して生殖細胞系列のBRCA遺伝学的

検査が保険収載されてから、婦人科領域では遺伝性腫瘍への関心が高まっております。

進行再発子宮体癌に対するMMR免疫染色がコンパニオン検査として承認されたことからBRCA1/2遺伝子の病的バリエーションが原因となる遺伝性乳がん卵巢癌症候群(HBOC)のみならず、子宮体癌や卵巢癌、消化器癌のリスクが上昇するLynch症候群に対する認知度もあがってくると思われます。

当科には辻と八木の2名の臨床遺伝専門医が在籍しており、1例ずつ病歴・家族歴から遺伝性腫瘍家系の可能性を見極め、必要に応じて情報提供を行い、患者さまが希望された場合には乳腺外科と共同で運営している遺伝カウンセリング外来にご案内しております。患者さま自身の治療方針決定のみならず、ご家族さまの健康管理に前向きで有益な行動変容をご提供できるような関わりを目指しております。

・ 小手術への取り組み

稽留流産、子宮内膜ポリープ、LEEP円錐切除術、粘膜下筋腫に対するTCR手術などの小手術も清潔かつ安全に実施できるように手術室にて実施しております。患者さまのご意向によって日帰りもしくは1泊2日いずれにも対応させていただいております。

・ 骨盤臓器脱への取り組み

まずはリングなどの保存的治療の対象になる方かどうか、腔口の大きさ、会陰帯が温存されているかどうか等から判断させていただきます。

外科的治療ご希望の方には、原則自家組織による補強手術をご提案しています。

骨盤臓器脱の患者さまは肥満気味でご高齢の方が多く、しばしばDMなどの内科疾患が合併しておりますが、当院の内科医師と連携して周術期管理をおこなうことで術後の合併症を最小限としております。

主な疾患

子宮頸癌、子宮体癌、卵巢癌、絨毛性疾患、遺伝性乳がん卵巢がん症候群、Lynch症候群、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、卵巢良性疾患、子宮脱、月経異常

主な診療実績 2024年

手術・治療

名称	件数・率
子宮全摘術(術式問わず)	50
腹腔鏡下手術	61
ロボット手術	10
卵巢悪性腫瘍手術	8
子宮悪性腫瘍手術	19
HBOCに対する予防的卵管卵巢切除術(RRSO)	2

名称	件数・率
婦人科悪性腫瘍への化学療法・放射線療法	18
附属器良性腫瘍に対する腹腔鏡下手術実施率	90%
子宮鏡下手術	17
子宮下垂・子宮脱手術	3
子宮筋腫核出術	11
子宮頸部切除術・LEEP(上皮内癌・異形成)	20

耳鼻咽喉科

施設
認定

日本気管食道科学会研修施設
日本耳鼻咽喉科学会研修施設

医師紹介

ふじ た あきひこ
藤田 明彦
部長

耳・鼻・喉からめ
まいまで、耳鼻科
の病気は多彩で
す。少しでも気にな
れば、お気軽に
お越しください。

- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 昭和58年
- 専門分野 耳鼻咽喉科学
- 資格、所属学会
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医）、日本耳科学会耳科手術暫定指導医、日本耳科学会認定耳管ピン手術実施医、日本気管食道科学会専門医、補聴器相談認定医、身体障害者指定医、耳鼻咽喉科臨床学会
日本鼻科学会

いわた な みちたか
岩永 迪孝
臨床顧問

- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 昭和51年
- 専門分野 耳科学（中耳手術）
- 資格、所属学会
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医）、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会

わだ ただひこ
和田 忠彦
部長

- 出身大学 大阪医科大学
- 卒年 平成17年
- 専門分野 耳科学（中耳手術・人工内耳手術）
- 資格、所属学会
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医）、日本耳科学会耳科手術指導医、日本耳科学会認定耳管ピン手術実施医、日本気管食道科学会、身体障害者指定医、耳鼻咽喉科臨床学会、頭頸部外科学会、日本頭頸部癌学会

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒年	資格、所属学会
はだ ふみこ 羽田 史子	医長	耳鼻咽喉科学	奈良県立医科大学 平成17年	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医）、補聴器相談認定医、耳鼻咽喉科学臨床学会、日本耳科学会、日本気管食道科学会
いのうえ ゆうた 井上 雄太	医長	耳鼻咽喉科学	大阪市立大学医学部 平成22年	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医）、補聴器相談認定医、耳鼻咽喉科学臨床学会、日本耳科学会
そが ふみたか 曽我 文貴	医長	耳鼻咽喉科学	京都大学医学部 平成25年	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医、耳鼻咽喉科臨床学会、日本耳科学会

特色

特に力を入れている診療は、下記のとおりです。

- 【耳の手術】鼓室形成術（慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎の手術）、アブミ骨手術、人工内耳
- 【鼻の手術】内視鏡下翼突管神経切除術（アレルギー性鼻炎の手術）、内視鏡下副鼻腔手術（蓄膿症の手術）
- 【頭頸部腫瘍の手術】

●耳の手術とは…

鼓膜に穴があったり、中耳炎で音の伝わりが悪い耳には、鼓室形成術が大変に有効です。当科では、京都大学伝統の術式の「外耳道や中耳の形をできるだけ保つ手術（canal wall up technique）」を基本としています。しかし、一つの方法だけで全ての中耳炎

に対応する事は不可能でそれぞれの耳の状態に即した手術方法を選択しています。もちろん、内視鏡手術も取り入れています。従来の顕微鏡手術と組み合わせることで、それぞれの長所を引き出すことにも注力しています。もしも、手術後の聴力改善が不十分な場合には、補聴器を適合することで、日常生活に支障

のない聴こえが得られるように努力しています。

また最近、内耳の働きが悪い耳に対して、積極的に人工内耳埋め込み術を行い、良い効果が得られています。また耳管開放症に対する耳管ピン挿入術もおこなっております。

●鼻の手術とは…

「鼻づまり」は大変につらい症状で、鼻の中の「空気が通る隙間」が狭いために起こります。つまり、通り道を広くすれば改善するはずで、きちんとした手術が大変に有効です。

鼻が狭くなる理由は様々で、鼻の骨のゆがみ(鼻中隔彎曲症)、粘膜の腫れ、過剰な鼻汁や鼻たけ(ポリープ)などがあります。幾つもの原因が重なることも少なくありません。つまり、手術の方法も、複数の術式を組み合わせるのが良いのです。我々の施設では、鼻中隔矯正術(鼻のゆがみを正す手術)だけでなく、必要に応じて副鼻腔炎やアレルギーの治療を組み合わせることで、良い成績を上げてきました。

主な疾患

慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳硬化症、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻中隔彎曲症、好酸球性副鼻腔炎

主な診療実績 手術件数(2024年)

名称	件数
耳科手術	409
鼓室形成術	133
鼓膜チューブ挿入術	108
アブミ骨手術	16
顔面神経減荷術	8
先天性耳瘻管摘出術	1
外耳道形成術	1
鼓膜形成術	4
乳突削開術	122
内リンパ嚢開放術	1
その他の耳科手術	15
鼻科手術	326
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	80
鼻中隔矯正術	68
鼻甲介切除術	1
その他の鼻科手術	177
口腔咽喉頭手術	50
扁桃摘出術(口蓋扁桃、アデノイド含む)	36
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術	14
舌・口腔良性腫瘍摘出術	1
咽頭良性腫瘍摘出術	7
咽頭悪性腫瘍摘出術	4
下咽頭悪性腫瘍摘出術	2

また、新しい鼻炎の治療法として、鼻炎の症状を悪化させる神経を切断する手術(翼突管神経切断術)にも積極的に取り組んでいて、多くの患者さまに喜んでいただいています。

最近、やっかいな鼻の病気として、好酸球性副鼻腔炎が注目されています。喘息などと同様に、アレルギーが強かかわる炎症で、再発しやすいことが特徴です。手術をする場合には、隅々まできれいにすることがポイントで、我々の施設では、最新のナビゲーションシステムを使用して、安全かつ徹底した清掃を心がけています。

●腫瘍の治療とは…

耳鼻科の腫瘍には様々な治療法があり、昔のように大きく切除するだけでなく、「声や飲み込みの機能をできるだけ残す方法」が工夫されてきました。放射線治療や特殊な抗癌剤治療(動脈内注入法)、形成外科と協力して行う再建手術などが挙げられ、当科でも積極的に取り組んでいます。

名称	件数
喉頭微細手術	20
頭頸部手術	53
頸部郭清術	2
単独で行った頸部郭清術	2
頭頸部腫瘍摘出術	51
顎下腺良性腫瘍摘出術	7
耳下腺良性腫瘍摘出術	9
耳下腺悪性腫瘍摘出術	1
甲状腺良性腫瘍摘出術	3
甲状腺悪性腫瘍摘出術	6
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術	5
喉頭悪性腫瘍摘出術	4
リンパ節生検	9
顎下腺摘出術	7
気管切開術	15

合計 873

麻酔科

施設
認定

日本麻酔科学会認定病院
日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医指定研修施設

医師紹介



なかすじ まさと
中筋 正人
部長

手術中、麻酔で眠っている患者さまの安全を我々麻酔科医が守ります。ご安心ください。

■出身大学 大阪公立大学医学部

■卒年 平成2年

■専門分野 術中体温管理
低侵襲モニタリング
手術室マネージメント

資格、所属学会

日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会指導医
日本小児麻酔学会
日本集中治療医学会
大阪公立大学医学部 臨床教授
日本麻酔科学会代議員



たなか ますじ
田中 益司
部長

■出身大学 大阪公立大学医学部

■卒年 昭和60年

■専門分野 ペインクリニック

資格、所属学会

日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会指導医
日本ペインクリニック学会専門医
日本臨床麻酔学会
日本集中治療医学会
日本緩和医療学会
日本線維筋痛症学会



いまなか のりえ
今中 宣依
部長

■出身大学 和歌山県立医科大学

■卒年 平成7年

■専門分野 心臓血管麻酔
超音波ガイド下神経
ブロック
術後疼痛管理

資格、所属学会

日本専門医機構麻酔科専門医
日本麻酔科学会指導医
日本臨床麻酔学会
日本ペインクリニック学会

医師名	役職	出身大学 卒年	専門分野	資格、所属学会
わたなべ ちえ 渡邊 千恵	医長	福井大学医学部 平成17年	心臓麻酔、小児麻酔	日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会指導医、心臓血管麻酔専門医、小児麻酔認定医
ひらい あんな 平井 杏奈	医員	滋賀医科大学 平成29年	ペインクリニック	日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会、日本専門医機構麻酔科専門医
ふじい あつや 藤井 敦也	医員	大阪公立大学医学部 令和元年	—	日本麻酔科学会専門医、日本専門医機構麻酔科専門医
ざこう あきひろ 雑喉 晃浩	医員	関西医科大学 令和3年	—	日本麻酔科学会認定医

特色

①手術麻酔

普段の患者さまは病状を医師に「痛い」「気分が悪い」「息苦しい」などと訴えることができますが、手術中は全身麻酔で意識がないため、これらを伝えることはできません。話ができない患者さまに代わってそのような状態を察知し、手術という特殊な状況下でも日頃の健康状態に近づけるのが麻酔科医の役割で手術中は常に患者さまのそばにいます。麻酔科医は手術室に

こもっているイメージがあるかもしれませんが関西電力病院麻酔科では患者さまとの対話を重視し、術前診察や術後回診にも力を入れています。麻酔に関するだけでなく、持病のこと、日ごろ飲んでおられる薬のこと、手術内容や術後経過、術後鎮痛など疑問に思われることに対して我々の幅広い知識と数多くの経験を生かしてお話させていただきますので、手術に伴う不安を少しでも解消していただければと思います。

②ペインクリニック

痛みはQOLや日常生活活動を著しく損なう原因となるため、早期から積極的に軽減を図っていく必要があります。当科では、頸肩 upper 肢痛、腰下肢痛、機能的頭痛、帯状疱疹関連痛、手術後疼痛症候群、線維筋痛症、各種の神経障害性疼痛など手術適応のない種々の痛み（主に非がん性疼痛疾患）を幅広く診断（当科受診前に疼痛部位の診療を専門とする各科における精密検査をお勧め致します）し、神経ブロック、イオントフォレーシス、光線療法、薬物療法（消炎鎮痛薬、鎮痛補助薬、麻薬系鎮痛薬、漢方薬）、心理療法などを用い、必要な場合には他科・他院と連携しながら

治療にあたっています。突発性難聴や顔面神経麻痺の発症早期など痛みを伴わない疾患に対する神経ブロックによる治療も行っております。外来診察は週2日（火、金、完全予約制）で、患者さまとの対話を重視して納得が得られる治療法を選択するよう常に心掛けています。なお、帯状疱疹関連痛、複合性局所疼痛症候群や突発性難聴では発症早期からの治療開始が大切で、時間が経つと徐々に治療抵抗性となります。神経ブロックは薬剤等による止血・凝固能異常がある場合や患者さまの十分な理解が得られない場合には実施できないことがあります。

主な診療実績（2024年）

①手術麻酔

全身麻酔件数1,700症例（手術室死亡例は無し。麻酔科管理緊急手術件数137症例）

麻酔科専門医取得に必要な特殊症例

- ・心臓外科（大血管・開心術）58症例
- ・呼吸器外科62症例
- ・脳神経外科49症例

②ペインクリニック

ペインクリニック外来（年間診療日数：97日）

内訳	患者数
初診患者	22
男性	10
女性	12
再診患者	855

初診患者内訳

疾患名	患者数
中枢痛	1
頸肩 upper 肢痛（FNSS含む）	3
胸部痛	1
腰下肢痛（FBSS含む）	6
会陰部痛	1
帯状疱疹関連痛	3
がん性痛	1
幻肢痛・断端痛	1
手術後遷延痛（FNSSやFBSSを除く）	4
その他	1

処置内容

名称	件数
星状神経節ブロック	30
仙骨部硬膜外ブロック	9
浅頸神経叢ブロック	32
後頭神経ブロック	31
腕神経叢ブロック	17
肩甲上神経ブロック	13
肩甲背神経ブロック	194
正中神経ブロック	12
肋間神経ブロック	5
仙腸関節枝ブロック	49
坐骨神経ブロック	4
外側大腿皮神経ブロック	9
静脈内局所ブロック	19
筋膜面ブロック（脊柱起立筋、肩甲挙筋など）	327
脊髄電気刺激装置トライアル/植込み（植込み→管理継続中：3例）	0
イオントフォレーシス	14
薬剤点滴	6
光線療法（キセノン光、スーパーライザー）	352
診察・処方のみ	390

※多くの処置は超音波ガイド下に実施

放射線診断科

施設
認定

日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関認定施設
日本核学会 日本核医学会専門医教育病院
マンモグラフィ検診施設画像認定施設
大阪府がん診療拠点病院

医師・技師紹介

おか だ つとむ

岡田 務

部長(画像診断・IVR)

地域医療連携室を通じてご依頼いただきましたCT、MRI、核医学検査は、適切な診断を速やかに報告する体制を整えております。当院の放射線診断専門医は各医師が相互に専門領域をカバーしながら、全身の画像診断に対応できる体制が整っております。画像診断について疑問点がございましたら、何でもお気軽にご連絡ください。



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成9年

■専門分野 画像診断全般(特に中枢神経系)

■資格、所属学会

日本医学放射線学会(放射線診断専門医)

日本医学放射線学会(研修指導医)

日本神経放射線学会

北米放射線学会

京都大学 医学博士

医師名	役職	出身大学 卒年	資格、所属学会
ふくとみ ひかる 福富 光	医長	京都大学医学部 平成20年	日本医学放射線学会(放射線診断専門医)、日本神経科学会、北米放射線学会、日本磁気共鳴学会、京都大学 医学博士
おおたに さよ 大谷 紗代	医員	京都大学医学部 平成21年	放射線診断専門医、日本磁気共鳴学会、日本神経放射線学会、検診マンモグラフィ読影認定医師
かわだ ちひろ 川田 千裕	医長	関西医科大学 平成25年	放射線診断専門医、日本医学放射線学会、日本腹部放射線学会、検診マンモグラフィ読影認定医師
ほんだ まや 本田 茉也	非常勤医師	京都大学医学部 平成22年	日本医学放射線学会(放射線診断専門医)、日本核医学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、日本乳腺甲状腺超音波医学会、検診マンモグラフィ読影認定医師、乳がん検診超音波実施・判定医師、日本乳癌画像研究会、日本磁気共鳴医学会、国際磁気共鳴学会、北米放射線学会、欧州乳房画像診断学会、京都大学 医学博士

特色

放射線診断科は常勤の放射線診断専門医4名が画像診断とIVR(インターベンショナルラジオロジー：低侵襲的血管内治療)にあたっています。画像診断と放射線治療の融合領域である核医学治療では、双方の専門医が協力して診療を行っています。

画像診断はCT、MRI、核医学検査を主とした放射線検査の読影業務を行っています。カテーテルを用いた血管塞栓術や血管拡張術、動注化学療法などの治療(血管性IVR)、CT下ドレナージ、CT下生検、膿瘍ドレナージ術など(非血管性IVR)を行っています。4名の放射線診断専門医がそれぞれの臓器別専門領域を生かして、全身の放射線診断を余すことなくカバーできる体制を整えています。

放射線診断科では地域医療連携として開業医・医療機関のみなさまから検査予約を承っております。地域医療連携室を通じてご依頼いただきました

画像検査は、基本的に検査終了後の当日に診断結果を返却しております。診療対応を急ぐべき重要な検査結果が確認された場合には、ご依頼元の医療機関へ直接ご連絡を差し上げる事がございます。迅速かつ的確な診断により、最適な治療に結びつくよう今後も努力して参ります。

放射線部では、医師と共に診療放射線技師、看護師が業務にあたっています。診断機器の他に、放射線治療装置(リニアック)や放射性同位元素(RI)を使用した甲状腺に対する放射性ヨード治療(バセドウ病、甲状腺がん)、神経内分泌腫瘍に対する放射性ペプチド核種療法(ルタテラ)、前立腺がんの骨転移・骨疼痛を目的としたRI治療(ゾーフィゴ)を他科との協力のもと、最善の診断と治療を実践しています。患者さまへの不必要な放射線被曝を防止するためにも、安全で適正な検査を受けられるよう、管理・指導を行っています。

主な検査・治療

MRI検査、CT検査、マンモグラフィ検査、血管造影治療・検査、放射線治療、核医学検査・治療、X線TV透視検査、X線単純撮影検査

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
一般撮影	38,295
骨密度	713
乳房	861
その他	36,721
泌尿器	287
Angio	1,108
脳外	79
循環器	905
放射線	124
X-TV	937
CT	18,701
単純	13,500
造影	5,201
MRI	7,908
単純	5,002
造影	2,906
放射線治療	166人(うち新患113人)
RI	874



MRI検査装置



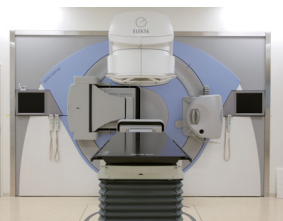
CT検査装置



血管造影撮影装置



核医学検査装置



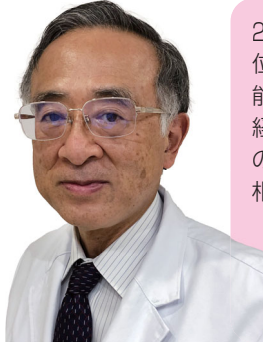
放射線治療装置(リニアック装置)

放射線治療科

施設
認定

日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関認定施設
大阪府がん診療拠点病院

医師紹介



ささい けいすけ
笹井 啓資
部長

2024年4月からIMRT、脳転移の定位照射など高精度放射線治療が可能になりました。地域医療連携室を
経由してご依頼をいただき、外来での放射線治療を行います。事前にご
相談いただければ骨転移疼痛緩和
目的での日帰り照射等も対応い
たします。放射線治療について
ご質問がありましたら、ぜひお
問い合わせください。

- 出身大学 弘前大学医学部
- 卒年 昭和56年
- 専門分野 放射線治療全般(特に悪性リンパ腫、脳、泌尿器系)
- 資格、所属学会
日本医学放射線学会放射線科専門医、
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会(放射線治療専門医)、
日本医学放射線学会(研修指導医)、
日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、
日本癌治療学会功労会員、
米国放射線腫瘍学会、
第1種放射線取扱主任者、
京都大学 医学博士、
順天堂大学 名誉教授



あつた ともこ
熱田 智子
部長

- 出身大学 鳥取大学医学部
- 卒年 平成13年
- 専門分野 放射線治療全般
- 資格、所属学会
日本医学放射線学会放射線科専門医、
日本放射線腫瘍学会/
日本医学放射線学会(放射線治療専門医)、
日本医学放射線学会(研修指導医)、
日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)

医師名	役職	出身大学 卒年	資格、所属学会
いたがき やすし 板垣 康	非常勤医師	関西医科大学 昭和61年	日本医学放射線学会放射線治療(指導医・専門医)、日本核医学会専門 医、日本放射線腫瘍学会、日本ハイパーサーミア学会、マンモグラフィ 読影認定医師

特色

当科では、大阪府がん診療拠点病院の認定施設として高エネルギーX線を用いた放射線治療(リニアック)、密封小線源治療(前立腺がんに対するシード治療)、放射性同位元素(RI)を用いた核医学治療を行っております。

リニアックでは、IMRT(強度変調放射線治療)、脳転移、脊椎転移、肺癌、肝癌、リンパ節転移への定位照射を実施しています。これら高精度治療を駆使することにより、副作用を少なくした根治治療、オリゴ転移(数の少ない転移)に対する再度寛解を目指した治療、短期間で効果が期待できる対症治療が可能となりました。

リニアックは、がんに対する根治治療はもちろんのこと、がんによるさまざまな症状(骨転移による痛み、腫瘍からの出血、腫瘍圧排による上大静脈症候群など)に対する緩和治療においても効果が期待できます。骨転移による痛みに対しては日帰り照射も可能です。

核医学治療としては、神経内分泌腫瘍に対するPRRT療法(ペプチド受容体放射性核種療法)、前立腺癌骨転移に対する塩化ラジウム治療、甲状腺がんに対するアブレーションやバセドウ病の治療を、他科との協力のもとで実施しています。

放射線治療専門医3名(常勤2名、非常勤1名)が診療にあたっており、患者さまに安心して治療を受けていただけるよう、放射線治療に関する説明に時間をかけて行うようにしております。放射線治療は、医師だけでなく、専門の知識・技術をもった診療放射線技師、医学物理士、看護師、クラークなど多職種による協同作業により成り立っています。また、他部門とのカンファレンスに積極的に参加し各部門と連携することで、患者さまに安全・適切で最善の治療を提供できるよう努めております。

治療適応と考えられる、あるいは適応を迷われる患者さまがおられましたら、まずはお気軽にご相談ください(お問い合わせ:当院 地域医療連携室)。

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
外部照射	150(うち新患119)
IMRT	42
脳定位照射	5
体幹部定位照射	13
全身照射	1
その他	89
小線源治療(前立腺癌シード治療)	5
核医学治療	60
PRRT	27
塩化ラジウム	1
その他	32



放射線治療装置(リニアック装置)

救急集中治療科

施設認定

日本専門医機構救急科領域専門研修基幹施設
日本専門医機構集中治療科領域専門研修施設
日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設

医師紹介

はしの たくや
端野 琢哉
部長



- 出身大学 大阪市立大学医学部
- 卒年 昭和62年
- 専門分野 救急診療、集中治療
- 資格、所属学会
日本集中治療医学会（専門医・評議員）、日本麻酔科学会（認定医・指導医）、日本専門医機構救急科領域専門医、日本専門医機構集中治療科領域専門医、日本専門医機構麻酔科領域専門医、日本血栓止血学会



- 出身大学 関西医科大学
- 卒年 昭和60年
- 専門分野 救急診療
- 資格、所属学会
日本救急医学会、日本専門医機構救急科領域専門医、京都大学医学部 臨床教授、日本臨床救急医学会、日本内科学会

当センターでは24時間、突然の腹痛や胸痛あるいは外傷で早急に診察が必要なかたや、意識消失など救急搬送の必要なかたを診療しています。入院後も重症のかたにはICUにて集中治療を行っています。通常の外来を受診されるかたでも症状が強かったり、早急な治療が必要であれば当センターで診察しています。

医師名	役職	専門分野	卒 年	資格、所属学会
おおはし なおつぐ 大橋 直紹	医長	救急診療、 総合診療、 集中治療	川崎医科大学 平成16年	日本専門医機構救急科領域専門医、日本専門医機構麻酔科領域専門医、日本専門医機構集中治療科領域専門医、日本集中治療医学会専門医、日本麻酔科学会（認定医・指導医）
かねまる よしのり 金丸 良徳	医長	集中治療	浜松医科大学 平成22年	日本集中治療医学会、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会（専門医・研修指導医） 日本内分泌学会専門医、日本甲状腺学会専門医、 日本医師会認定産業医
うえた のりこ 植田 典子	医員	救急診療	旭川医科大学 令和2年	日本救急医学会、日本集中治療学会
り ゆうじ 李 裕至	医員	救急診療	京都府立医科大学 令和4年	日本救急医学会
さかい ゆうせい 酒井 雄世	医員	救急診療	大阪大学医学部 令和4年	日本救急医学会
みつやま たけし 光山 豪	医員	救急診療	近畿大学医学部 令和5年	日本救急医学会

特色

24時間・365日、軽症から重症まで対応する 2次救急告示医療機関

病気や怪我はある日突然、私たちの身に襲ってきます。そんな病気や怪我になった時、「放っていても治るだろうか?」、「重い病気の始まりじゃないだろうか?」など、患者さまご本人もご家族も不安になられることがあるでしょう。また、「すぐにでも、この痛みを何とかして欲しい。」、「熱を下

げて欲しい。」など、緊急で処置を望まれることもあるでしょう。そんな時に安心していつでも受診できるような体制を整えているのが救急病院です。
そんな救急病院の中で、入院して治療が必要となるような重い病気や怪我の救急診療を受け持っているのが2次救急告示病院です。当院はその2次救急告示医療機関として、いつでも病気や怪我の皆さまのお力になれるように、高度

で専門性の高い救急医療機関診療体制を整えています。

2次救急病院といっても重症の患者さまのみの診療を行っているわけではありません。最初は軽いと思っていても、後から重症になることもあります。無理して我慢せず、早めに受診してください。

患者さまの1つの病気を診るだけでなく、 患者さま全体を診るのが総合診療です

患者さまの中には、複数の病気にかかっている方や救急受診時には診断のつかない病気にかかっている方もいらっしゃいます。救急受診された患者さまのうち、すぐに各専門診療科へ診療依頼の出来ない患者さまを総合診療で診させていただきます。

厚生労働省認可の集中治療室

救急受診された重症の患者さまや大手術を受けられた患者さまを診療させていただく部署として集中治療室(ICU)があります。当院のICUは、その設備や人員の面で厚生労働省の認可を受けております。

診療体制

救急外来、ICUともに専門医を中心に複数の医師で診療にあたっています。各専門科の医師とも密接に連携をとりながら診療にあたっています。特に、救急外来で診察させていただいた患者さまについては、必要に応じて、それぞれの専門科へ入院していただいたり、外来へ通院していただいたりしています。

夜間は5～6名の医師が当直しております。虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症など急に胸痛をきたす疾患)の患者さまには循環器当直を毎日配置し、脳卒中(脳出血や脳梗塞など突然起こった意識障害、麻痺や痺れなどをきたす疾患)の患者さまには脳卒中(専門)対応医を月～金は配置して、来院された際に即座に対応できるように備えております。急性腹症(虫垂炎など突然腹痛を起こす疾患や消化管出血等)などの、その他の各診療科に関しては、on callによる診療体制をとっています。

教育体制

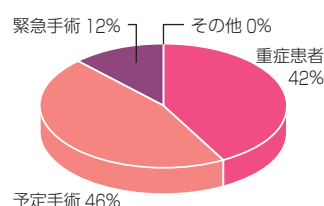
日本専門医機構の救急科領域専門研修基幹施設だけでなく、集中治療科専門研修施設にも認定されました。それにより救急領域はもちろん、集中治療領域も各専門医が将来の救急医療・集中治療を担う医師の教育と確保に努めております。

重症初期支援体制

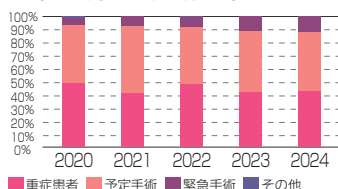
急に重い病気やケガで入院となったとき、「医師等の説明が理解できない」、「治療に関する希望を聞かれたが、どうやって決めればいいのか分からない」など患者さまご本人やご家族が混乱したり、不安・心配になられることがあります。そのような時に患者さま・ご家族と医療スタッフとの「橋渡し(調整役)」として、医療者の治療方針およびその内容に関する説明を誤解なく理解していただき、情報共有が促進され、適切な意思決定がなされるように支援させていただくメディエーターを配置しました。

主な診療実績 (2024年)

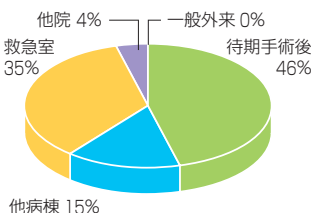
■ICU入室患者 入室理由



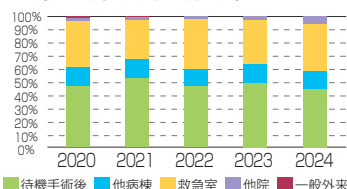
■ICU入室患者 入室理由 (過去5年間の推移)



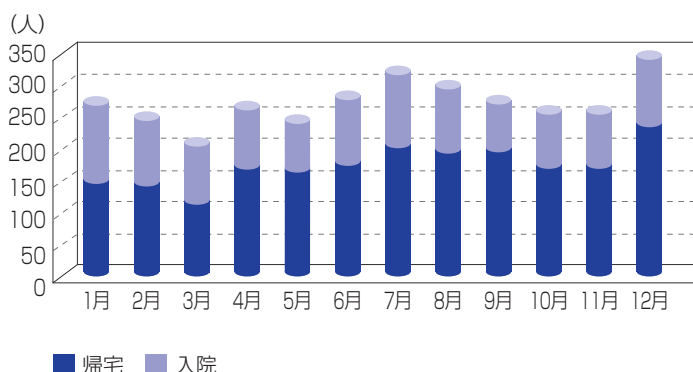
■ICU入室患者 入室経路



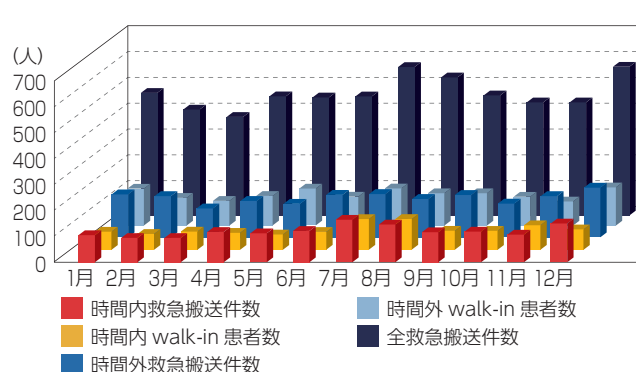
■ICU入室患者 入室経路 (過去5年間の推移)



■救急搬送受入件数(受入総数 2,962件)



■救急外来診療患者数



呼吸器内科

施設
認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本呼吸器学会認定施設

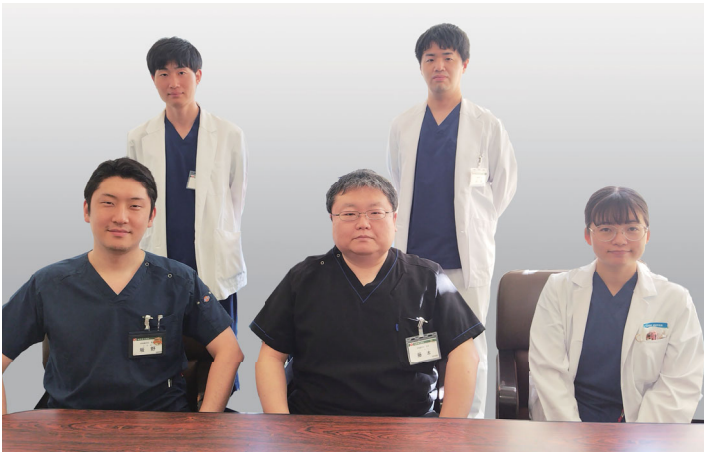
日本呼吸器内視鏡学会認定施設

医師紹介

ふじもと ひろ き
藤本 寛樹
部長

専門用語をできるだけ避けた、わかりやすい診療を心がけています。なかなか治らない咳や痰、進行していく息切れ、胸部レントゲン異常など、幅広い専門診療をスタッフ全員で行っています。

- 出身大学 鳥取大学医学部
- 卒年 平成15年
- 専門分野 呼吸器内科一般
- 資格、所属学会
日本内科学会(認定医・専門医)
日本呼吸器学会専門医
日本アレルギー学会専門医
日本呼吸器内視鏡学会(気管支鏡専門医)
ICD(日本感染症学会認定)



医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
しまだ ゆり 嶋田 有里	医員	呼吸器内科一般	大阪市立大学医学部 平成29年	日本内科学会(新・内科専門医)、日本呼吸器学会専門医、日本肺癌学会、日本結核・非結核性抗酸菌症学会
さかの ゆうた 坂野 勇太	医員	呼吸器内科一般	大阪市立大学医学部 平成30年	日本内科学会(新・内科専門医)、日本呼吸器学会ICD(日本環境感染症学会認定)、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会
まつうらひろゆき 松浦 弘幸	医員	呼吸器内科一般	関西医科大学 平成30年	日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会
さかいしゅんすけ 坂井 俊介	医員	呼吸器内科一般	関西医科大学 令和4年	日本内科学会、日本呼吸器学会
もり ゆうか 森 優花	医員	呼吸器内科一般	大阪公立大学医学部 令和5年	

特色

他の診療科と連携をとりながら、肺癌、呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎など広範囲にわたる呼吸器疾患の診療を担当しています。

肺癌については、常時呼吸器外科、腫瘍内科、放射線治療科との症例検討を行っており、手術可能例については呼吸器外科に転科して手術を行っています。進行肺癌に対しては腫瘍内科、放射線治療科、緩和医療科と連携し化学療法、放射線療法、支持療法を行い、緩和医療にも留意した診療を心がけています。また、化学療法導入後は外来化学療法を積極的に行っています。

呼吸器感染症は、通常の肺炎・気管支炎に加えレジオネラ肺炎やニューモシスティス肺炎などの特殊な肺炎や種々の肺真菌症、非結核性抗酸菌症などの診療も

行っています。排菌のある肺結核症については、当院には結核病床がなく、入院を要する場合には他の専門病院にご紹介することになります。

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患については、ガイドラインに準拠し吸入療法を中心とした薬剤療法を行って、症状悪化による救急受診や入院を減らし、安定した日常生活を送れるよう対応しています。難治性喘息に対しては近年注目されている生物学的製剤を導入しております。

種々の間質性肺炎については、高分解能CT、気管支鏡検査、胸腔鏡下肺生検などで診断を確定し、必要に応じて抗線維化薬、ステロイド、免疫抑制剤などによる治療を行います。

主な疾患

呼吸器感染症(肺炎、肺真菌症、非結核性抗酸菌症など)、肺腫瘍(肺癌、胸膜中皮腫など)、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、びまん性肺疾患(特発性間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎など)、胸膜疾患(種々の原因による胸膜炎、気胸など)

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
肺炎の入院	116
間質性肺炎の入院	29
気管支鏡検査	32

皮膚科

施設
認定

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

医師紹介

み たに つね お
三谷 恒雄
部長

皮膚(毛、爪も含む)、口の中の病気の診察を行っています。病気が、短期間で治療が完了せず、慢性に経過し、通院が長期にわたる場合があります。また、皮膚の病気が、内臓の異常から起こったりする場合は、他科と連携・協力して診療に当たっています。



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和56年

■専門分野 皮膚科一般

■資格、所属学会

日本皮膚科学会専門医

京都大学皮膚科 臨床教授

特色

皮膚科疾患全般(アレルギー性皮膚疾患、皮膚腫瘍、自己免疫性水疱症、皮膚感染症など)を診療しています。

入院患者さまは、带状疱疹などのウイルス性疾患や蜂窩織炎などの細菌性疾患の他、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬の急性増悪例や尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡などの自己免疫性水疱症や壊疽性膿皮症の寛解導入例などです。

狭範囲中波長紫外線(NB-UVB)照射を、通常の外用内服では治療に難渋する尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎、類乾癬、尋常性白斑、円形脱毛症、痒疹などに用いています。

主な疾患

アトピー性皮膚炎、带状疱疹、乾癬、丹毒、蜂窩織炎、疥癬

検査・処置・手術

皮膚生検組織診断

ダーモスコピー

皮膚貼布試験(パッチテスト〔as is〕)

光線過敏性試験(UV-A, UV-B)

液体窒素冷凍凝固

電気焼灼

狭範囲中波長紫外線照射(NB-UVB)

ダーモスコピー(皮膚にできた腫瘍やホクロを拡大して観察する装置。皮膚がんの診断に用いる)を導入し、主に色素性病変の良性・悪性の鑑別に役立てています。

既存の治療では効果が得られない重症乾癬症例は、日本皮膚科学会より生物学的製剤使用施設認定を受け、生物学的製剤の投与を行っています。

また、かゆみの強い、重症アトピー性皮膚炎においても、生物学的製剤や内服JAK製剤を用い、速やかな症状の改善が得られています。

症例検討会

「京都大学皮膚科臨床カンファレンス」

・日時／毎週水曜日午後

・場所／京都大学病院皮膚科カンファレンス室

緩和医療科

施設
認定

日本緩和医療学会認定研修施設

いのうえ なおや

井上 直也

部長



診断時、抗がん治療中、抗がん治療終了後のあらゆる段階で、全人的な苦痛の緩和を支援します。当院には緩和ケア病棟がなく、他科入院中の方への緩和ケアチームによる支援を中心に活動しています。

■出身大学 京都大学医学部

■卒年 平成4年

■資格、所属学会

京都大学 医学博士、日本緩和医療学会（専門医・認定医・研修指導者）、日本外科学会（専門医・指導医）、日本消化器外科学会（専門医・指導医）、日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）

特色

「緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLを、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチ」です。抗がん治療が終わった後の症状緩和だけではなく、早い時期から化学療法や放射線療法などの生存期間の延長を意図して行われる治療に緩和ケアを組み合わせることで、治療を続けやすくすることもできます。

入院における緩和ケアチーム活動が診療の中心です（当院には緩和ケア病棟がなく、他科の治療で入院中の方が対象です）。

外来でも診療や緩和ケアチームによる支援を行っています。

- ・当院で治療を受けておられる方は、まず主治医に受診の相談をしてください。
- ・当院で治療を受けておられない方は、かかりつけ医等の紹介状をご用意いただき、地域医療連携室を通じてご予約をお願いします（必ず事前にお問い合わせ下さい）。

- 身体症状緩和**: 痛み、呼吸困難、食欲不振、倦怠感、など。
- 精神症状緩和**: 抑うつ、不安、せん妄、など。
- 社会的問題緩和**: 療養場所の選定、など（MSW、退院支援看護師などとも連携）。
- スピリチュアルケア**: 心療内科などと連携してケアを行います。

開催研修

2024年度

- ・緩和ケア研修会主催
- ・大阪府緩和ケア人材養成事業・『在宅ケアの立場から急性病院に期待するAdvance Care Planning』講演会

緩和ケアチーム紹介

緩和ケアを提供する専門的知識や技術を有する多職種で構成されたチームです。診断から初期治療前、抗がん治療中、抗がん治療終了後のあらゆる段階で、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛の緩和を支援します。

構成メンバー

- ・医師… 緩和医療科:1名、外科:1名、心療内科:1名、腫瘍内科:1名
- ・看護師… がん看護専門看護師:2名、がん性疼痛看護認定看護師:1名、退院支援看護師:1名
- ・薬剤師… 緩和薬物療法認定薬剤師:1名、薬剤師:2名
- ・管理栄養士… がん病態栄養専門管理栄養士:2名
- ・リハビリテーション… 作業療法士:1名、理学療法士:1名（がんリハビリテーション研修終了）
- ・医療社会福祉士:1名
- ・公認心理師:1名

緩和ケアチーム介入実績 (2024年度)

年間依頼件数 152件

依頼の内訳

がん患者 147件

非がん患者5件（呼吸器疾患2名、消化器疾患1名、神経疾患1名、腎疾患1名）

依頼時期

診断から初期治療前41件、がん治療中85件、がん治療終了後21件

主な依頼内容

疼痛77件、疼痛以外の身体症状74件、精神症状36件

転帰

自宅退院88件、在宅ケア導入16件、緩和ケア病棟への転院10件、その他の転院2件、死亡退院29件、その他7件

医師紹介

たけうち あつし

竹内 篤

部長

人は、五感の中で最も視覚にたよっています。子供の顔を認識すること、きれいな紅葉を見ること、感動的な小説を読むことなど、生活のあらゆることが眼と直結しています。その眼を大事にして、よりよい生活・より楽しい人生を送りましょう。



■出身大学 京都大学医学部

■卒年 昭和60年

■専門分野 緑内障、網膜硝子体、白内障

■資格、所属学会

京都大学 医学博士

日本眼科学会認定専門医

医師名	役職	専門分野	出身大学 卒 年	資格、所属学会
こてら ゆりこ 小寺 由里子	部長	緑内障、白内障	近畿大学医学部 平成13年	京都大学 医学博士 日本眼科学会認定専門医 日本網膜硝子体学会
おりたに やすゆき 織谷 康之	医長	網膜硝子体、白内障	京都大学医学部 平成26年	日本眼科学会

特色

眼科領域のあらゆる疾患に対して、最新の検査機器を用いた正確な診断に基づく適切な治療(薬物、レーザー、手術)を行っています。検査のみ必要な方や、診断・治療に対するセカンドオピニオンが必要な方にも対応可能です。

主な診療実績 (2024年)

名称	件数
白内障手術	432
緑内障手術	30
網膜硝子体手術	26
抗血管新生薬療法	260

主な疾患

白内障、後発白内障、緑内障、網膜剥離、網膜円孔、網膜裂孔、網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、黄斑円孔、黄斑硝子体牽引症候群、黄斑上膜

腫瘍内科

施設
認定

日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本内科学会認定医制度教育病院
日本緩和医療学会認定研修施設

医師紹介

やなぎはら かずひろ
柳原 一広
部長

勧められる「がん治療」の提供を図ることが、第一で、その上で患者さまの気持ちに向き合い、ご相談しながら、患者さまにとって最善のがん医療を提供します。



- 出身大学 京都大学医学部
- 卒年 平成元年
- 専門分野 固形がん抗がん薬治療・支持療法
- 資格、所属学会
日本臨床腫瘍学会（指導医・がん薬物療法専門医）、日本緩和医療学会認定医、日本がん治療認定医機構（暫定教育医・認定医）、日本呼吸器内視鏡学会（指導医・専門医）、日本肺癌学会、米国臨床腫瘍学会、欧州腫瘍内科学会、世界肺癌会議、京都大学 医学博士、京都大学 臨床教授

特色

「腫瘍内科」とは、悪性腫瘍をもった患者さまの診療すべてを包括する領域です。当院では腫瘍内科は主に抗がん薬治療を行う固形がんの患者さまを診療しています。他科と共同して併診で抗がん薬治療を行うほか、腫瘍内科が主体になって行うこともあります。頭皮冷却を用いた脱毛予防を併用する周術期抗がん薬治療を行っており、他院で手術をされた場合も術後補助療法のみを当院で行うこともしております。

腫瘍内科医の役割は、がん患者の主治医として併存疾患や治療の合併症も含めた患者さま自身を把握することです。がん治療には集学的治療が必須であり、様々な専門医による診療の調整も行います。人生会議を踏まえて看取り期までの調整を行います。

抗がん薬は劇薬であり、より安全に、かつ効果的に使用するために、抗がん薬の作用や副作用などに精通しており、適切な予防策や対処方法を行うようにしております。

抗がん薬治療を安全かつ確実に行的っていくためにも、副作用の軽減や症状の緩和についても標準的な治療法を行う必要があります。標準的な確立した治療方法を患者さまにお勧めすることが、私たち医療者の使命です。抗がん薬治療がどのような意味を持つものなのか、患者さまにしっかりと説明した上で、納得いただき、一緒に治療法を考えたいと思っています。

腫瘍内科医は現在の標準的な治療を実践するのみならず、新たな治療を確立するために患者さまの不利益にならないような科学的な根拠がしっかりとした臨床試験を行い、新たな治療を検証しています。本院でも様々な臨床試験グループと共同して新たな治療法の開発に取り組んでいます。

主な疾患 原発不明がんをはじめとするすべての固形がん

主な診療実績 患者紹介数(2024年)

がん腫	新規紹介患者数	がん腫	新規紹介患者数	がん腫	新規紹介患者数
神経膠腫	1	膵がん	9	消化管・膵神経内分泌腫瘍	13
甲状腺がん	2	肺がん	15	その他の神経内分泌腫瘍	7
食道がん	0	乳がん	22	原発不明がん	6
胃がん	1	子宮頸がん	4	その他(良性疾患など)	1
結腸がん	4	子宮内膜がん	8	合計	106
直腸がん	3	卵巣がん	5	セカンドオピニオン	5
胆管がん	4	腎がん	1		

外来受診の流れ《初診》

外来受付時間 平日 8:30 ~ 11:30 土 8:30 ~ 11:00

かかりつけ医からご紹介でご予約のある方

初めて当院を受診される方 新たに他の診療科を受診される方

1. 1階 総合受付(診療受付)

- ① 発券機により番号札をお取りください。
- ② 予約票、保険証、紹介状等をご準備ください。
- ③ 総合受付から順に番号で呼び出し、受付をさせていただきます。
- ④ 受付後、受付票と外来フォルダーをお渡しします。

1. 1階 総合受付(診療受付)

- ① 発券機により番号札をお取りください。
- ② 診察申込書を記入し、保険証、紹介状等をご準備ください。***初めて当院を受診する方のみ**
- ③ 総合受付から順に番号で呼び出し、受付をさせていただきます。
- ④ 受付後、受付票と外来フォルダーをお渡しします。
***紹介状をお持ちでない患者さまには、初診時の通常の医療費の他に、選定療養費として、6,600円を頂きます。**
***診療科によっては完全予約制となっており、ご受診をして頂けない場合がありますので、お問い合わせください。**
***整形外科の初診患者さまは、かかりつけ医からのご紹介のご予約のある患者さまに限らせて頂いております。再診の患者さまも事前にご予約が必要です。**

2. カルテ写真撮影

当院では、ご本人であることを確実に確認するために、カルテ用の顔写真の撮影をお願いしております。診察券をご用意のうえ、1階カルテ写真機にて撮影してください。なお、撮影を行わない場合でも診療に支障を来すことはありません。

3. 各外来診療受付

受付票にて受付後、待合席でお待ちください。

4. 診察室

順番が参りましたら受付番号で呼び出します。診察が終わりましたら、受付票ファイルを診療受付にお渡しください。お薬の処方がある方は診察室にて医師から処方箋をお渡しします。院外処方箋は発行日を含めて4日間以内に保険調剤薬局でお薬に引き換え、お薬代等をお支払いください。院内処方箋控えをお持ちの方は1階8番おくり窓口へお越しください。

5. お支払い

すべての診療が終わりましたら1階会計窓口にて受付票等をお出しください。会計番号表示盤に受付票の受付番号が表示されましたら、診療費支払機にて、お支払いください。お支払いにはクレジットカードが使用できます(暗証番号が必要です)。なお、診療費支払機でお支払いができない場合は、総合受付までお越しください。

外来受診の流れ《再診》

外来受付時間 平日 8:30 ~ 11:30 土 8:00 ~ 11:00

再診でご予約のある方

6ヶ月以内に同一科のご受診歴があり、ご予約のない方

1. 再診機

- ① 再診受付機に診察券を入れてください。
- ② 受付票が印刷されますので、備付けの外来フォルダーに入れ、各外来診療受付にお進みください。

1. 1階 総合受付(診療受付)

- ① 発券機により番号札(再診)をお取りください。
- ② 総合受付にて順に番号をお呼びし、受付をさせていただきます。
- ③ 受付後、受付票と外来フォルダーをお渡ししますので、各外来診療受付にお進みください。
***ご予約の患者さまが優先となりますので、お待たせすることがあります。ご了承ください。**

2. 各外来診療受付

受付票にて受付後、待合席でお待ちください。

3. 診察室

順番が参りましたら受付番号で呼び出します。診察が終わりましたら、受付票ファイルを診療受付にお渡しください。お薬の処方がある方は診察室にて医師から処方箋をお渡しします。院外処方箋は発行日を含めて4日間以内に保険調剤薬局でお薬に引き換え、お薬代等をお支払いください。院内処方箋控えをお持ちの方は1階8番おくり窓口へお越しください。

4. お支払い

すべての診療が終わりましたら1階会計窓口にて受付票等をお出しください。会計番号表示盤に受付票の受付番号が表示されましたら、診療費支払機にて、お支払いください。お支払いにはクレジットカードが使用できます(暗証番号が必要です)。なお、診療費支払機でお支払いができない場合は、総合受付までお越しください。

もしも“がん”と言われたら・・・ がん相談支援センターまでお越しください

☹ 医師に何をきいていいのかわからない

☹ 抗がん剤の治療ってしんどいの？

☹ どれくらい、お金がかかるの？

☹ 『高額医療』ってどんな手続きがいるの？

☹ これからの生活は？

☹ 『セカンドオピニオン』ってなに？

☹ 『緩和ケア』ってなに？

☹ 誰かに気持ちを聞いてほしい！

【よくあるご質問】

Q: 費用や相談時間はどのくらいですか？

A: 費用は無料ですが、相談時間は通常30分程度とさせていただきます。

Q: がん相談の対象は誰ですか？

A: がんに関連した相談や不安、情報提供を希望されている方どなたでも対象です。

Q: 治療方針について聞くことはできますか？

A: がん相談支援センターでは、がんに関連する情報提供や生活上のお困りごとをお受けしますが、治療方針については、主治医にお尋ね下さい。

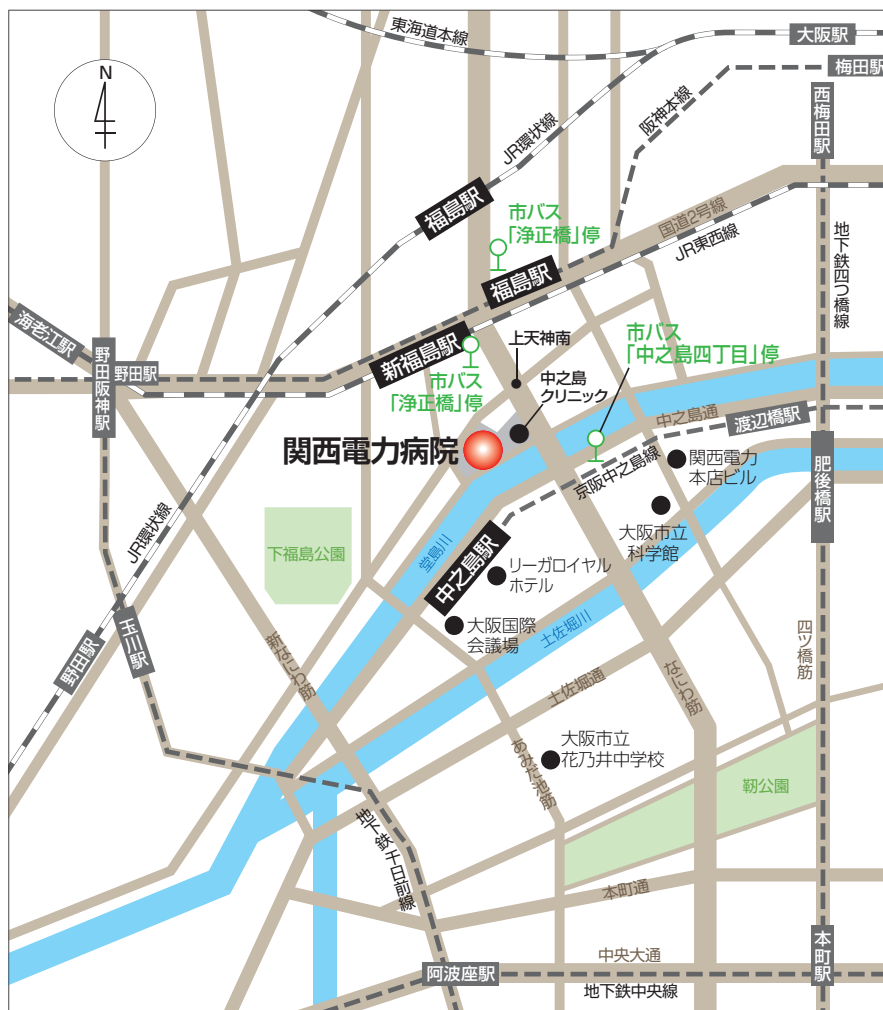


完全予約制となっております。お電話または7番窓口でお申込みください。

TEL : 06-6458-5821 (代表)

関西電力病院 がん相談支援センター ▶ 1階 7番窓口

アクセス



電車でご来院の場合

- ・ 阪神電鉄「福島駅」3番出口から徒歩約5分
- ・ JR東西線「新福島駅」2番出口から徒歩約5分
- ・ JR環状線「福島駅」から徒歩約7分
- ・ 京阪中之島線「中之島駅」6番出口から徒歩約3分

バスでご来院の場合

- ・ 市バス「浄正橋」下車徒歩約5分
- ・ 市バス「中之島四丁目」下車徒歩約5分

お車でご来院の場合

- ・ 上天神南交差点を西へすぐ(地下立体駐車場へ)

ホームページ



2025年 11月発行

発行 **関西電力病院**

〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号

TEL 06-6458-5821(代表) FAX 06-6458-6994(代表)

<https://kanden-hsp.jp/>
